



2021年12月期 通期決算説明資料

ニューラルポケット株式会社
2022年2月10日

- **事業の概要と第4四半期ハイライト**
- サービスドメインごとの事業進捗
- 中期的な事業飛躍に向けて

当社のミッション

『世界を便利に 人々を幸せに』

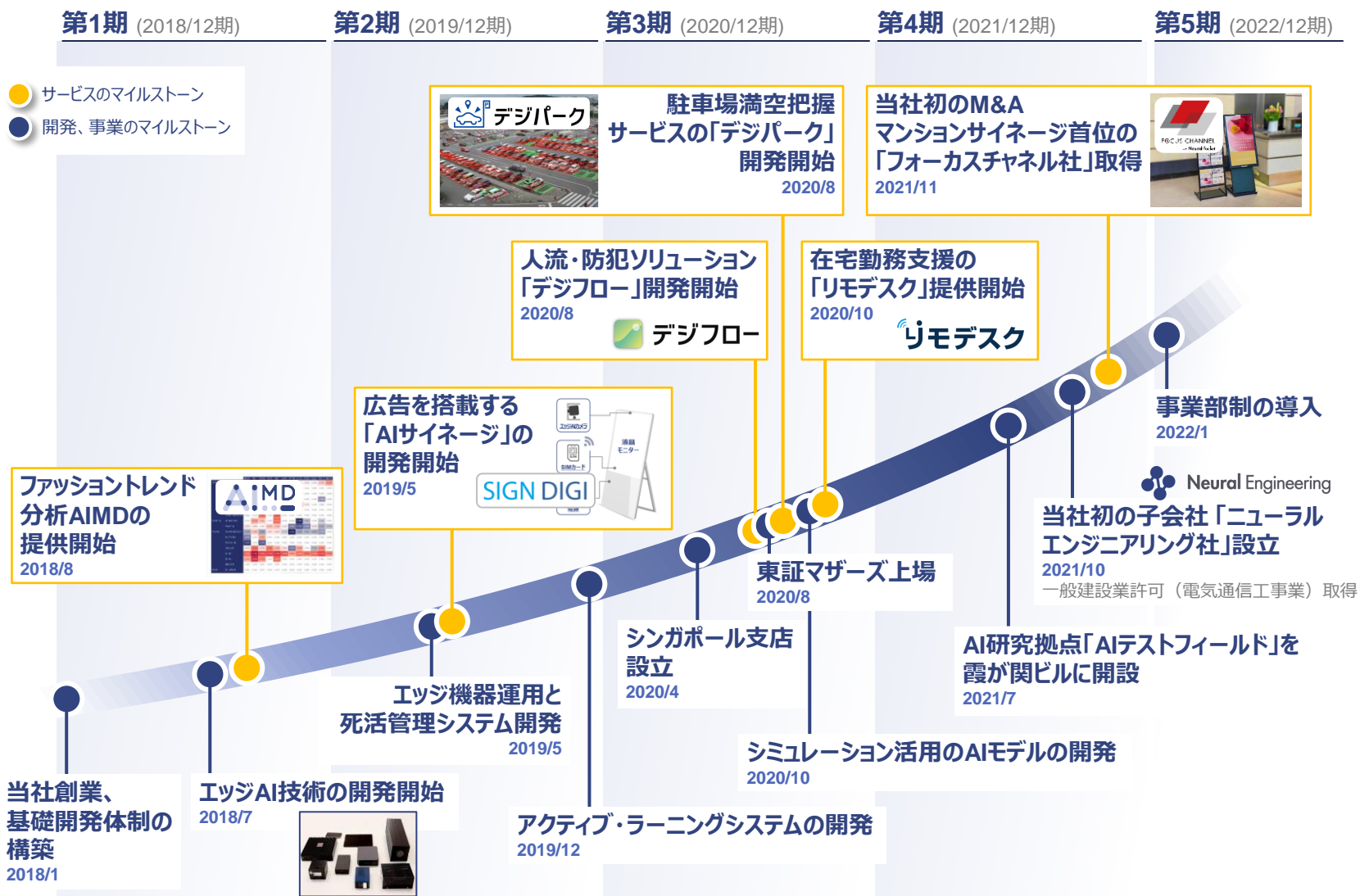


経営陣紹介

	氏名	主な経歴
取締役	 代表取締役社長 重松 路威	マッキンゼーのパートナーとして日本、ドイツ、アメリカなど11か国で活動。IoT、AI分野をけん引。AIによる実社会のデジタル化の実現を目指し、2018年1月にニューラルポケットを創業。東京大学 工学系研究科修士、同大学院 工学部アドバイザーボードメンバー。
	 取締役CTO 佐々木 雄一	スイスCERNにてヒッグス粒子発見の研究。ノーベル賞共同研究者。AIベンチャーを経てニューラルポケットに参画。幅広い研究分野の最新の研究論文を年間1000本以上読み、最新技術のサービス化に貢献。当社の研究開発をけん引する。東京大学 理学博士。
	 取締役COO 周 涵	マッキンゼー日本オフィス、中国オフィスを経てニューラルポケットに参画。日中英3か国語のトリリンガル。国内外の大手企業とのコネクションと営業力で事業戦略部をけん引。当社の事業拡大に貢献。大阪大学経済学部卒業。
	 取締役CFO 種 良典	ベイン・キャピタル・ジャパンでプライベート・エクイティ投資に従事。オヨテクノロジーアンドホスピタリティジャパンの東京ジェネラルマネージャーを務めた後、ニューラルポケットに参画。財務面から経営基盤構築に貢献で、M&Aの活動も主導。スタンフォード大学経営大学院（MBA）修了。
	 社外取締役 山岸 洋一	野村證券株式会社投資銀行部門にてM&Aアドバイザー、公開引受業務に従事した後、みずほ証券株式会社公開引受部長に就任。みずほ証券退職後、株式会社ディー・エル・イー、ラオックス株式会社他社外役員を務める。2020年、当社社外取締役就任。公認会計士。
	 社外取締役 蓮見 麻衣子	株式会社フジテレビジョン、フィデリティ投信株式会社を経て、エバーリッチアセットマネジメント、Zホールディングス株式会社（旧ヤフー）取締役監査等委員など、社外取締役多数。2021年、当社社外取締役就任。スタンフォード大学経営大学院（MBA）修了。
監査役	 常勤監査役 竹村 実穂	新日本監査法人（EY新日本有限責任監査法人）において主に証券会社など金融機関の監査業務に従事した後、株式会社アイリッジにおいて新規上場時の常勤監査役を経験。2019年より当社常勤監査役就任。公認会計士。
	 監査役 若松 俊樹	佐藤総合法律事務所を経て、Saltus法律事務所を開設。株式会社Orchestra Holdings、株式会社Voicyなどで取締役を務める。2019年より当社の監査役に就任。弁護士。会社法・金商法等幅広い企業法務が専門。
	 監査役 白井 元	あらた監査法人（PwCあらた有限責任監査法人）、フロンティアマネジメント、監査法人トーマツを経て、株式会社グリンティーを設立。株式会社クリュートメディカルシステムズなどで監査役を務める。2020年当社の監査役に就任。公認会計士。
顧問	 顧問 松尾 豊	東京大学大学院工学系研究科人工物工学研究センター教授。日本のAI・深層学習分野における第一人者。日本ディープラーニング協会理事長、ソフトバンクグループ株式会社社外取締役を務める。

ニューラルポケットの歩み

👉 AIサービスの開発と展開をするための技術機能、開発環境の創出を進め、多数のサービスを矢継ぎ早に創出。



当社が独自に開発した種々のAIライブラリをスマートシティ活動に適用

ニューラルポケットは眼をもったAIカメラを街にもたらすことで
リアル空間のデジタル化と社会課題の解決を目指しております

「AIスマートシティ革命」



スマートシティ関連AIサービス市場は100兆円水準を見込む

👍 AI全般の関連産業市場は国内で87兆円（2030年）と膨大な市場創出が見込まれる。また、当社が注力するスマートシティ市場では全世界で100兆円水準が見込まれ、多くの投資が期待される。

AIを活用した関連産業の市場規模*1 国内市場

87兆円



2030年

卸売・小売・
生活関連・広告・
運輸・モビリティ

スマートシティサービスの市場規模 グローバル市場

調査会社・レポート名	予測市場規模*2
Allied Market Research Smart Cities Market by Functional Area : Global Opportunity Analysis and Industry Forecast, 2018 – 2025	2025年に 271兆円
Mordor Intelligence Smart Cities Market - Growth, Trends, and Forecast, 2020 - 2025	2025年に 192兆円
IMARC Smart Cities Market: Global Industry Trends, Share, Size, Growth, Opportunity and Forecast 2020-2025	2025年に 108兆円
Markets And Markets Smart Cities Market by Smart Transportation, Smart Buildings, Smart Utilities, Smart Citizen Services And Region - Global Forecast to 2023	2023年に 81兆円

*1 人工知能が経営にもたらす『創造』と『破壊』、EY総合研究所株式会社（新日本有限責任監査法人）発行

*2 米ドル/円為替レート113円として計算。

当社では幅広い画像解析AI技術を開発

👉 独自のロジック開発、学習データ生成体制の構築で、エッジ機器に搭載可能な小型で高品質な独自AIライブラリを多数保有。それらの技術の多様なセクターでの活用を進める。

マーケティング

性別/年齢



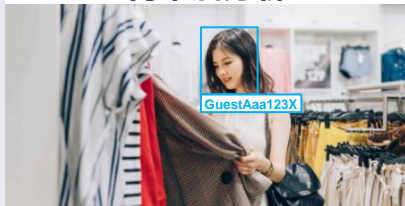
視線・視聴検知



グループ分析

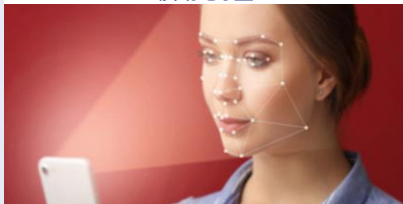


再来店分析



セキュリティ

顔認証



侵入検知



安心・安全見守り

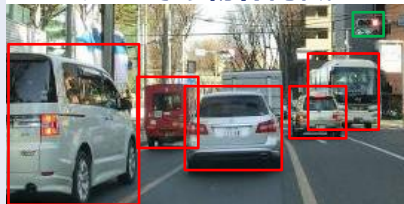


通行人数計数/混雑度分析



モビリティ

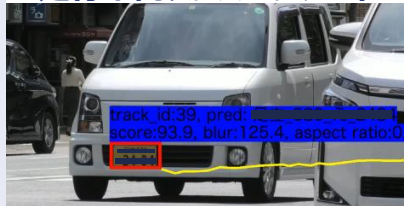
道路での物体認識



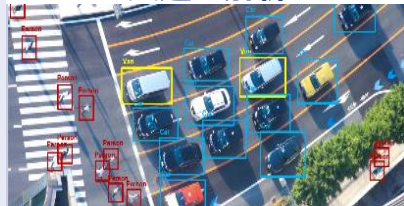
満空把握



走行車両ナンバープレート



交通量解析



オペレーション改善

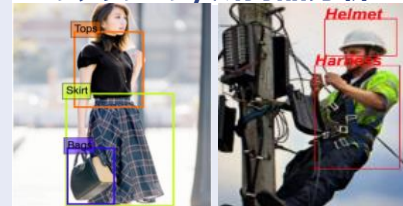
物体検知



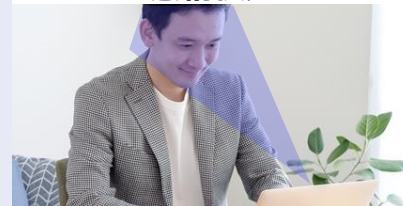
空間見える化



ファッション/所持品分析



感情検知



エッジAIは従来のクラウドAIが抱える多くの課題を解決可能な技術

👉 従来のAI技術は産業応用する上で多くの課題を抱える中、当社では低コスト、低遅延、グリーン（低電力消費）、プライバシー保護を可能にする『エッジAI』の開発に注力し、それらに関わる多くの技術資産・知見を保有する。

クラウドAI 従来のアプローチ



- 高コスト (通信費・維持費)
- 高遅延 (ネットワーク負荷)
- 高消費電力

エッジAI 当社が注力するアプローチ



- 低コスト
- 低遅延
- グリーン

プライバシー保護
にも大きく寄与

AIの技術進化とエッジAIの位置付け



2012年頃から注目を集めているAIは落ち着きを見せている中、『エッジAI』は依然黎明期でこれから更なる技術革新や普及が期待される。

Gartner社調べ 技術トレンド*1



AI技術進化の経過と 当社への意味合い

- ① 2012年の深層学習の発展以降、人工知能は進化を続け、技術の進化は**落ち着き**を見せてきた
- ② また、NVIDIAやエッジ機器メーカーの技術革新を通じて、エッジコンピューティングの**汎用化**が進行した
- ③ 一方、エッジ機器に搭載可能な**コンパクトで高品質なAI開発力**を保有する企業は世界的に限られており、「エッジAI」は黎明期として**先行者利益が得られる領域**

*1 <https://www.gartner.co.jp/ja/newsroom/press-releases/pr-20200910>

エッジの急速な普及拡大が進むと予想されている

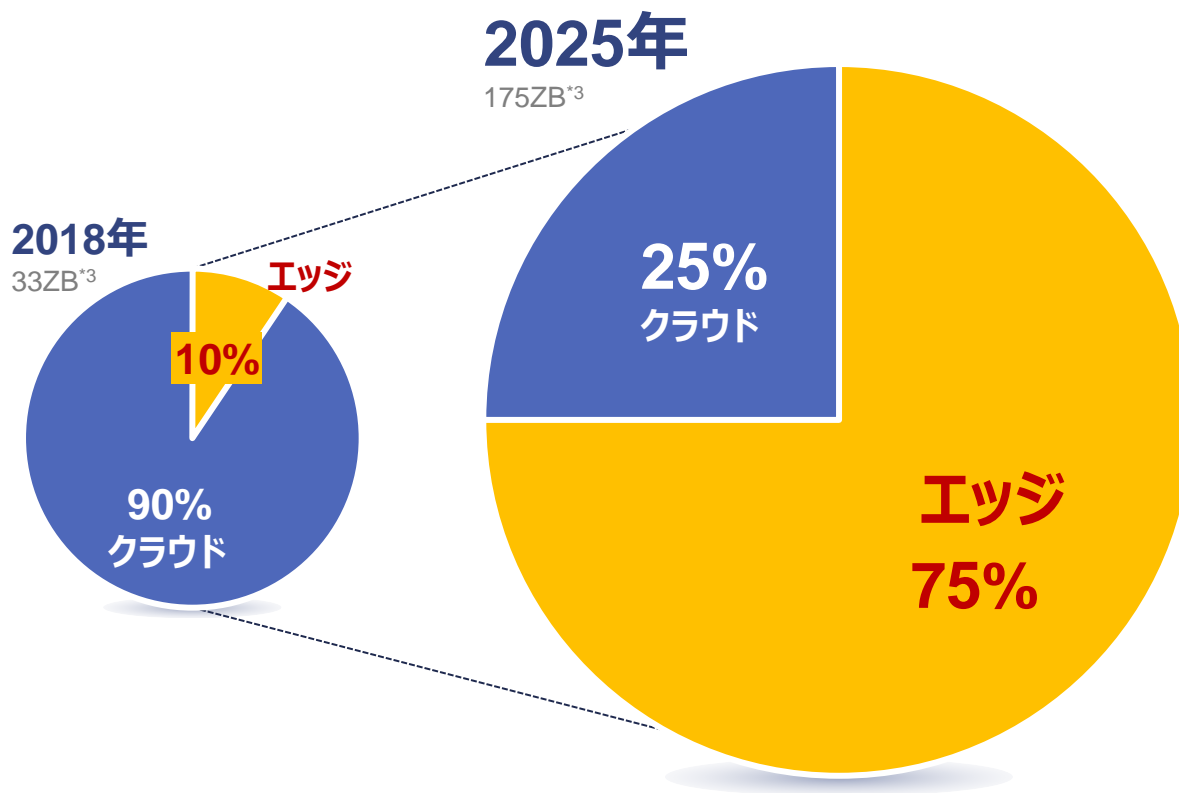
👍 エッジ市場の成長はクラウド市場の成長を大きく凌ぎ、年率成長率69%を見込む。

エッジとクラウドのシェア予測^{*1*2}

2018年から2025年

成長予測

2018年から2025年



*1 エッジのシェアについてWhat Edge Computing Means for Infrastructure and Operations Leaders, Gartner (2018年10月)調べ。

*2 データ総量についてData Age 2025 Whitepaper, IDC (2018年11月)調べ。

*3 ゼタバイト。データ量の単位。10⁹ TB(テラバイト)に相当。

2021年12月期 第4四半期 ハイライト

 高い利益率を維持しながら、売上成長進む。更に当社初のM&A実行など、当社事業のスケール化に向けた事業基盤構築進む。

売上成長

通期売上高10.1億円

売上成長
+32%

対前年度

収益性 (売上総利益)

通期売上総利益7.8億円

売上総利益率
78.0%

従業員数^{*1}

45人 (+7人)

()内は昨年度末比較

特許

累計件数^{*2}

28件 (+9件)

()内は昨年同月比

グループ連結

当社初のM&A

**フォーカス
チャンネル社**

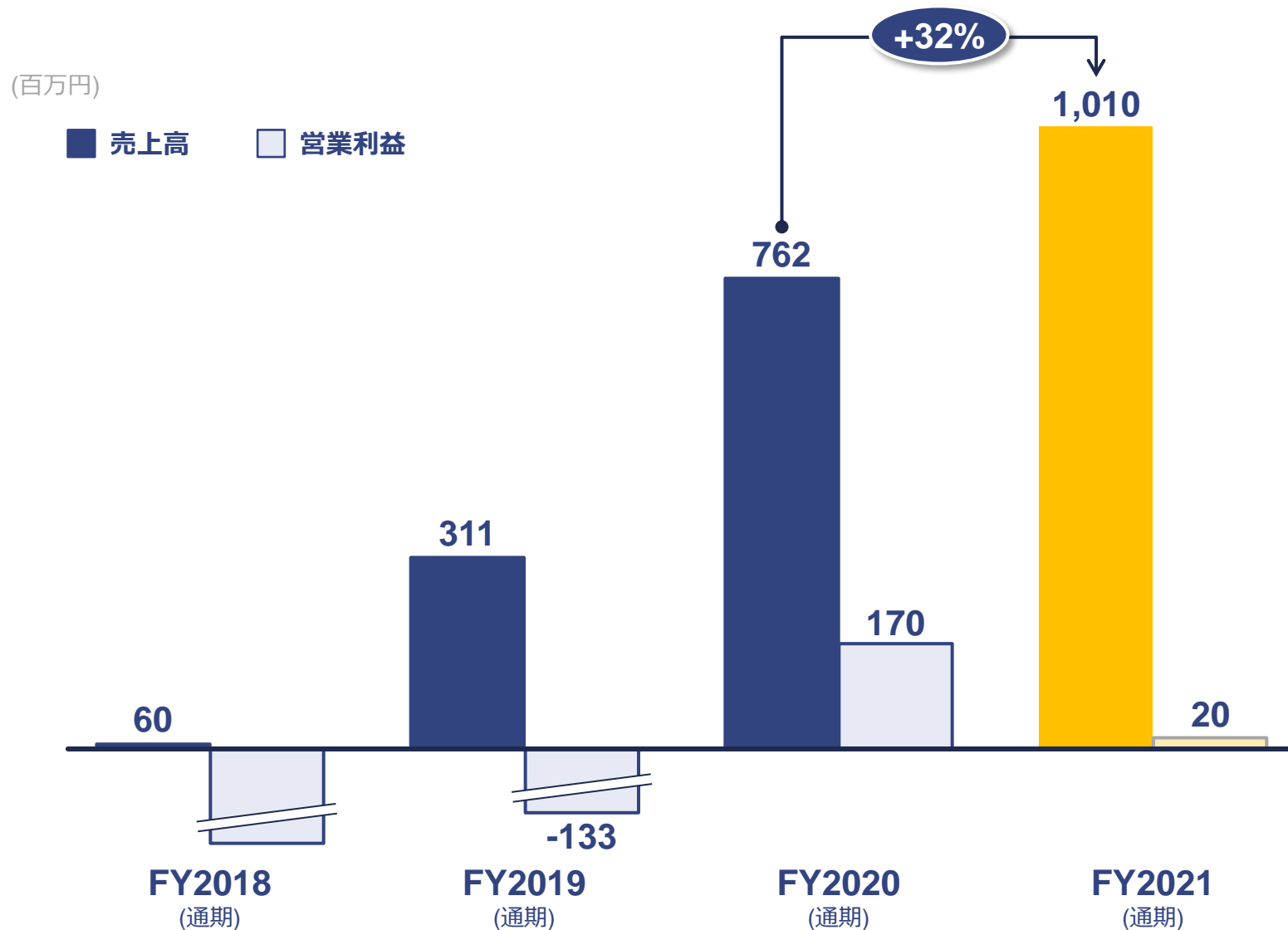
'21/11より100%子会社化、
初の連結決算

*1 2021年12月31日時点の正社員の合計。役員、パート・アルバイト、インターン等は含まない。当社完全子会社のフォーカスチャンネル社従業員は上記数字に含まない。


*2 2022年2月10日現在 取得済15件、国内出願中9件、国際出願中4件の合計。

2021年12月期通期 業績推移

👉 フィーベースからユニットベースへの事業モデル転換を進める中、通期で売上高は昨年対比で+32%成長を実現。



2021年12月期 通期実績 予想との差異

 来期の飛躍に向けて積極的な投資を実施予定。来期の加速的な成長に向け、Q4においてはフィーベース売上高を一部手放し、通期黒字で着地。

(百万円)	2020年 12月期 実績値	2021年 12月期 業績予想	2021年 12月期 実績値	対業績予想 増減額 対業績予想	対業績予想 増減率 対業績予想
売上高	762	1,006	1,010	+4	+0.4%
営業利益 営業利益率	170 22.3%	16 1.6%	20 2.0%	+4	+26.1%
経常利益 経常利益率	148 19.4%	11 1.1%	13 1.4%	+2	+24.1%
当期純利益 当期純利益率	147 19.3%	9 0.9%	11 1.1%	+2	+25.2%

2021年12月期 通期業績の概況 前年度比

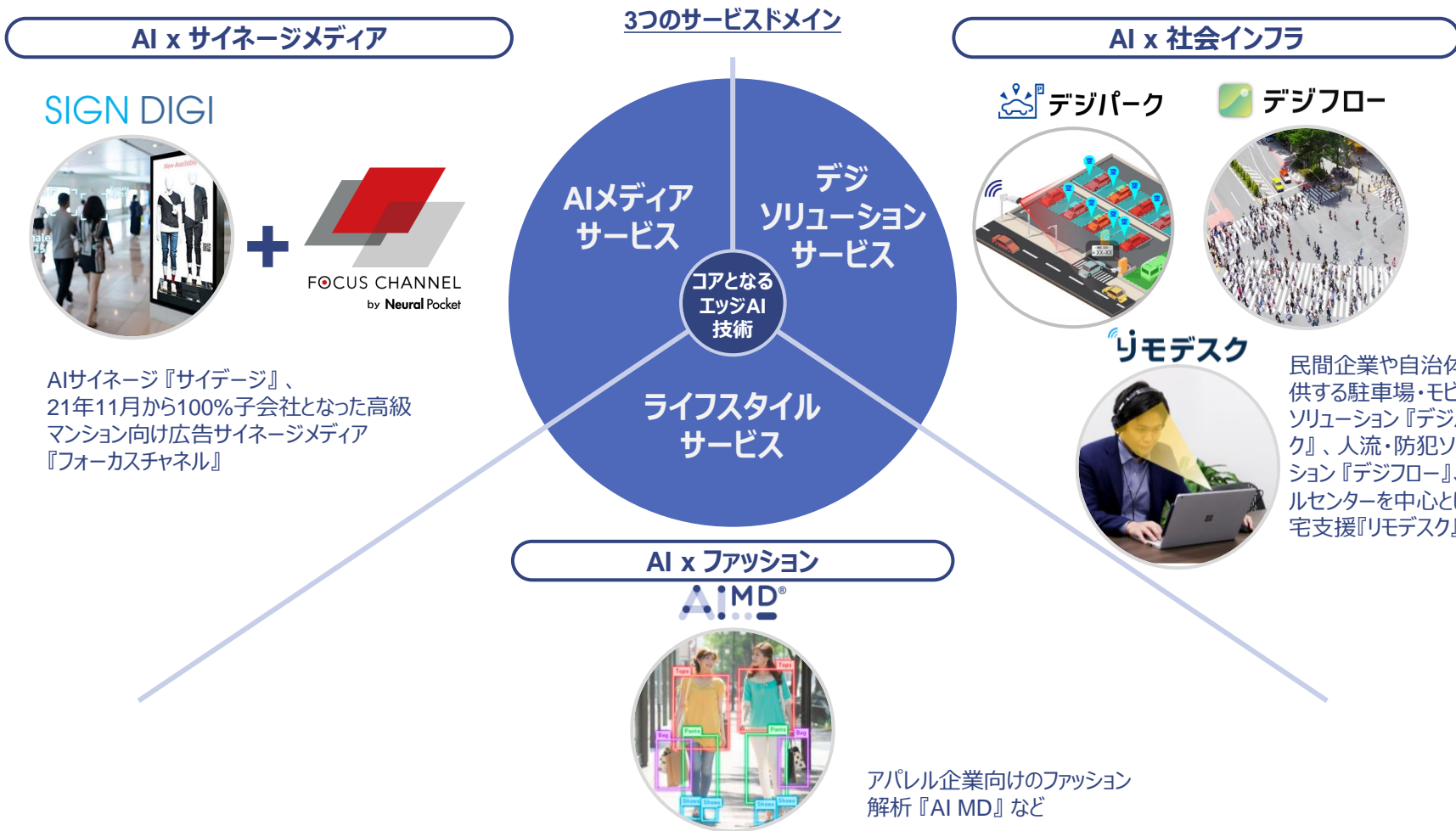
 フィーベースからユニットベースへの事業モデル転換を進める中、依然高い粗利率を維持し、着実な売上成長実現。

(百万円)	2020年 12月期 通期	2021年 12月期 通期	増減額	増減率
売上高	762	1,010	+247	+32.4%
売上総利益 (粗利) 売上総利益率	669 87.8%	787 78.0%	+117	+17.5%
EBITDA^{*1} EBITDA%	202 26.6%	112 11.1%	-90	-44.6%
営業利益 営業利益率	170 22.4%	20 2.0%	-150	-88.2%

*1 償却前営業利益

エッジAI技術を3つのドメインに適用し、ユニークな提供価値を創出

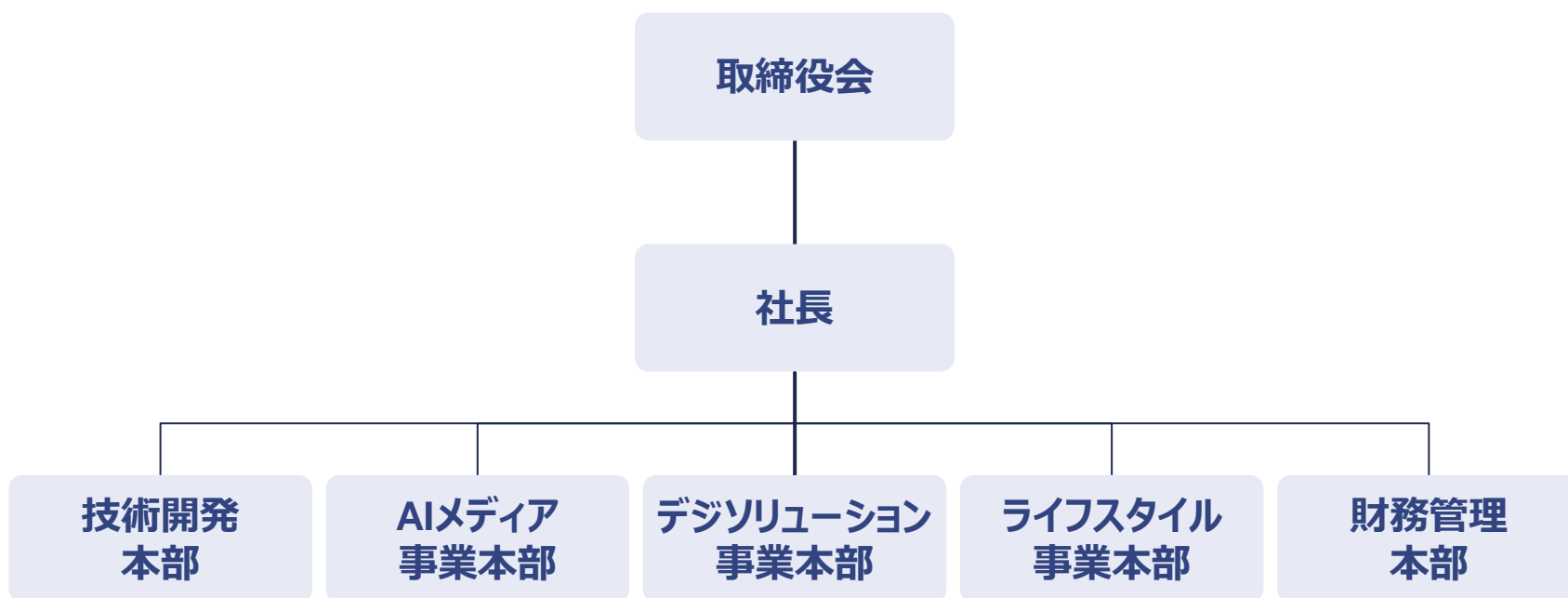
👉 当社はコアとなるエッジAI技術を様々な領域に適用することで、便利な社会を創造する。サインージメディアサービス領域の『AIメディアサービス』、駐車場や人流・防犯といった社会インフラ領域の『デジソリューションサービス』を主力サービスドメインとして事業を展開。



2022年1月より事業部制の導入



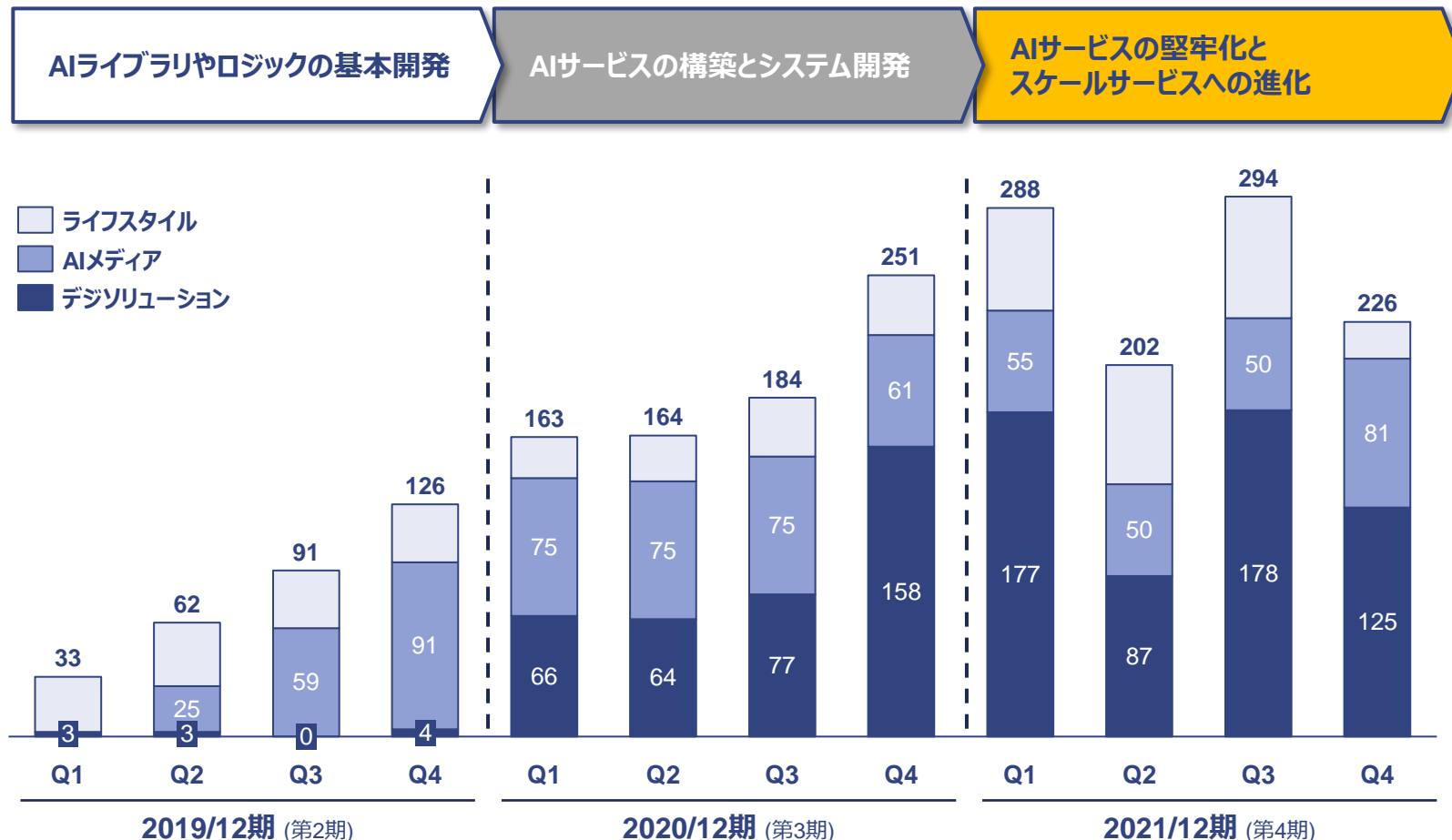
当社の提供する『AIメディアサービス』、『デジソリューションサービス』、『ライフスタイルサービス』がそれぞれ独立して事業拡大を進めるため、2022年1月より組織改定を行い、事業部制を導入いたしました。組織変更に合わせて、新たに4名の執行役員を選任しております。



サービスドメイン別の売上推移



創業以来、着実な売上成長を実現しながら、3つのサービスドメイン「AIメディアサービス」、「デジタルソリューションサービス」、「ライフスタイルサービス」の展開を可能にする各種シーズ開発を推進。FY2021はそれらシーズ技術をスケールビジネスに進化させる一年として、選択的に活動を推進。



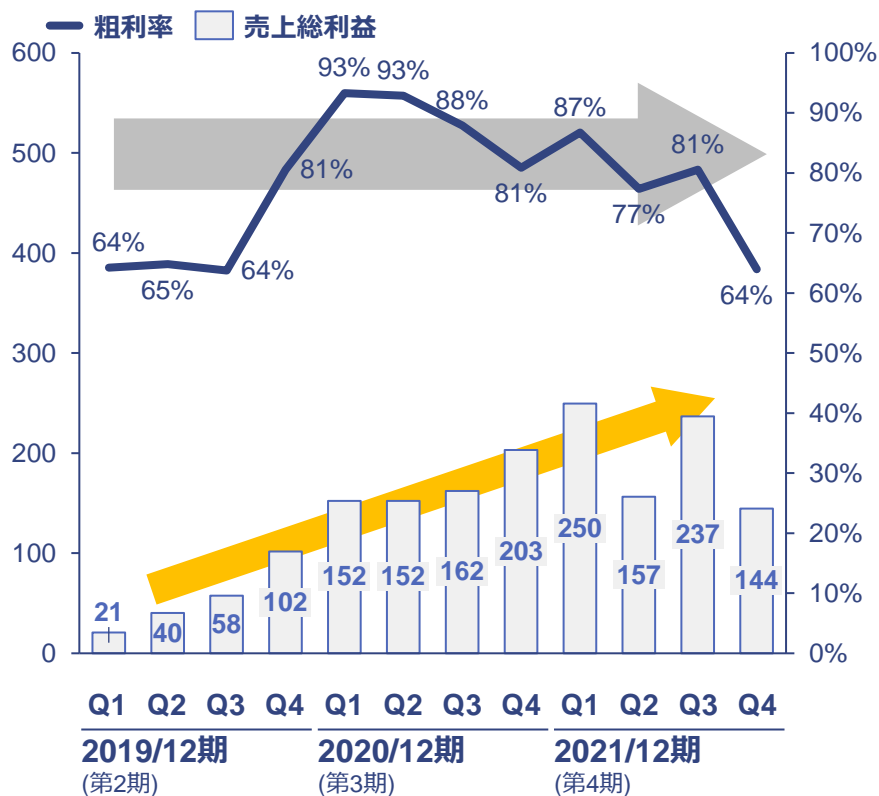
売上総利益およびEBITDAの四半期推移



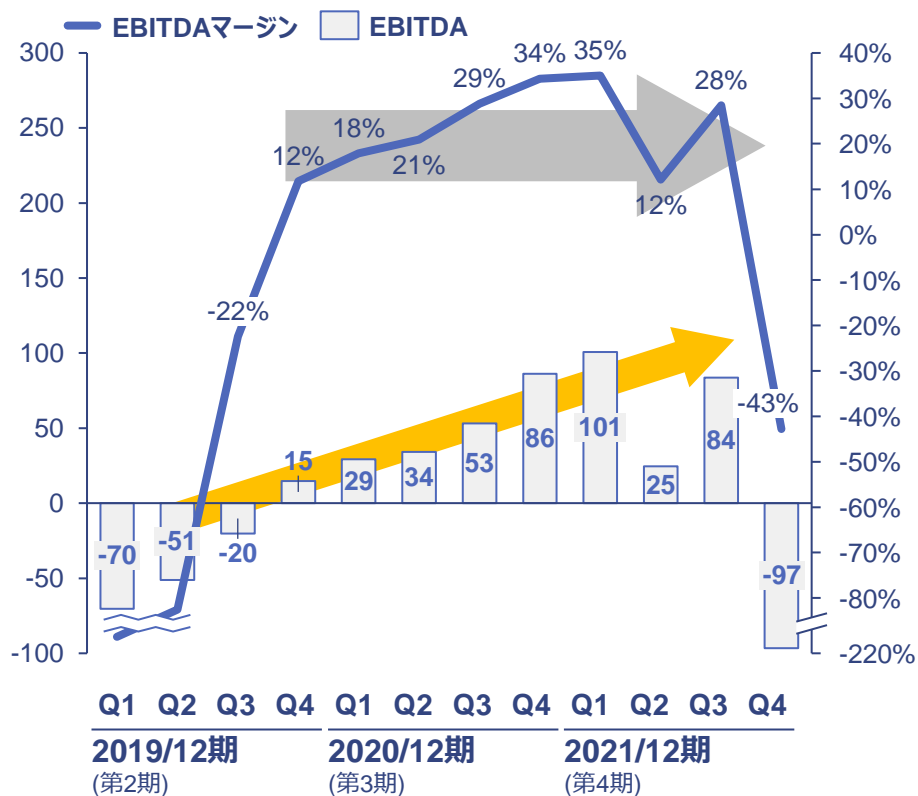
売上総利益およびEBITDA*1ともに高い収益性を維持しながら収益成長を進める。事業モデルの転換で一時的に踊り場を迎えているものの、今後は高い粗利率を維持しながら、事業のスケール化を目指す。

売上総利益

(百万円)



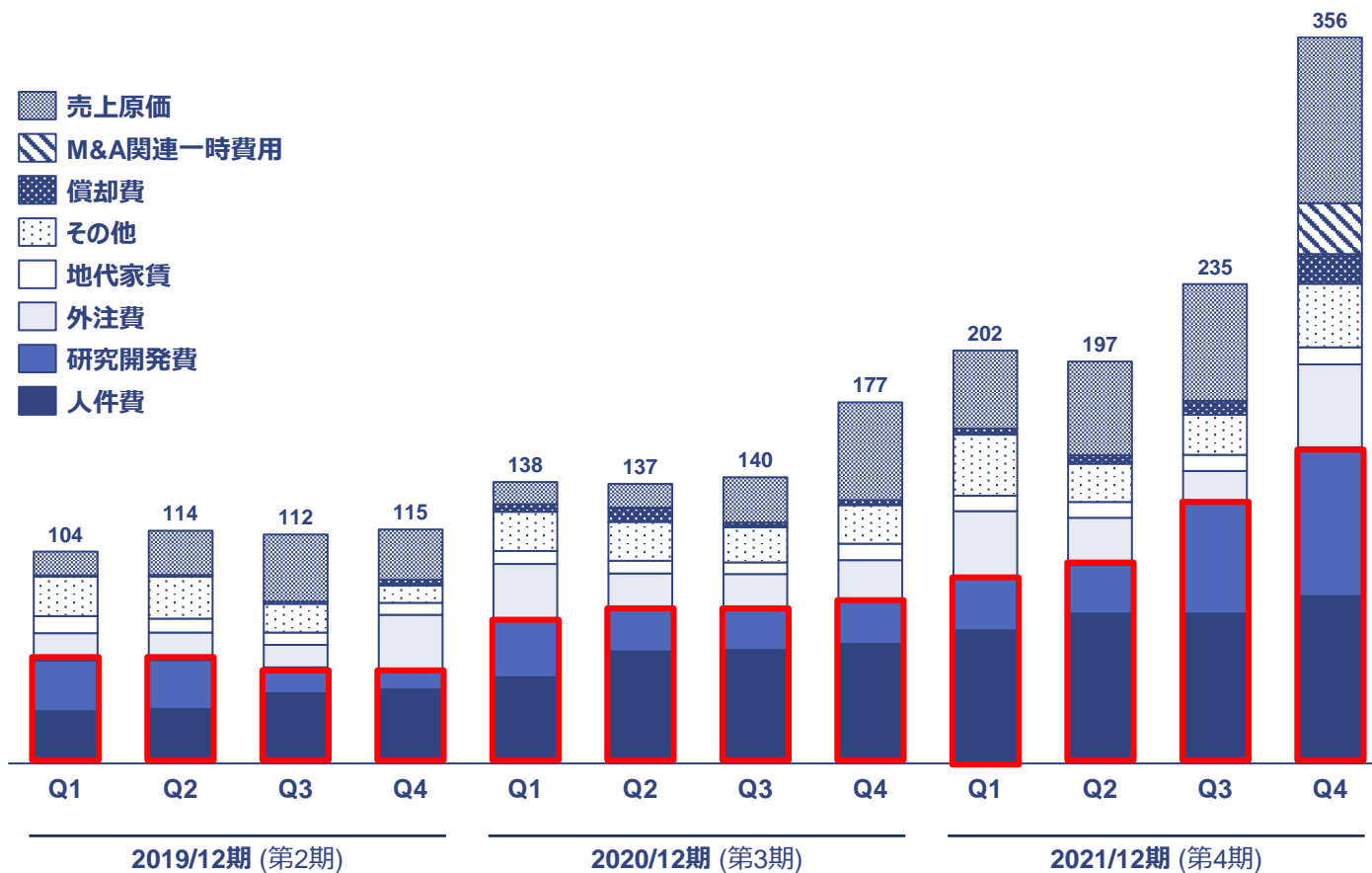
EBITDA*1



*1 償却前営業利益

費用の推移（売上原価・販売費及び一般管理費）

👉 費用総額の約半分程度を技術開発とサービス開発体制の構築（人件費および研究開発費）に充当。



* 2018年12月期の研究開発費については、原価計算未集計のため、記載なし

公共団体などが主催する多くのセミナーやイベントに登壇

 AIを活用した街づくりへの取り組みなどを紹介し、AI分野での知名度向上を進める。

AI技術

- HONGO AI 2021 審査員
- Soft Bank World 2021
- 日本ショッピングセンター協会 ビジネスミーティング
- JR東日本 モビリティ変革コンソーシアム
- 一般社団法人 電気通信協会 ブロードバンド・ユビキタス調査会

街づくり

- パナソニック／ライフソリューションズ 「Project PLATEAU - Ver1.0 (について)」
- UR都市機構 URひと・まち・暮らしシンポジウム「スポーツと健康のまちづくり」
- 国土交通省関東地方整備局 令和3年度第1回技術エキスパート研究会

学術分野との連携

- 横浜 f カレッジ (ヨコハマ エフ カレッジ) 特別講義
- 青山学院大学 特別講義
- 東京経済大学 特別講義
- 大正大学 特別講義
- DCON2022 (全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト) 審査会

アパレル

- 織研新聞「ファッションDXDAYs2021」
- 経済産業省 第5回 繊維産業のサステナビリティに関する検討会

その他

- 青森市「あお☆スタ」起業家向け講演会
- NTTドコモ・ベンチャーズ スタートアップアカデミー
- WIRED STARTUP LOUNGE "The Art of Innovation -Mirror World"



加盟団体一覧

 多様な業界団体等に加盟し、最前線でAIスマートシティ活動を主導。

スマートシティ関連



総務省
MIC Ministry of Internal Affairs and Communications

デジタル海外展開プラットフォーム



OSAKA SMARTCITY PARTNERS FORUM



国土交通省

スマートシティ
官民連携
プラットフォーム



PLATEAU
by MLIT



TDPF
Tokyo Data Platform


鎌倉市スマートシティ官民研究会

大阪商工会議所
MaaS社会実装推進フォーラム

業界団体



経団連



一般社団法人
日本ディープラーニング協会

お役に立ちます！
大阪商工会議所




一般社団法人
日本ショッピングセンター協会



一般社団法人
全国道の駅連絡会

企業との連携



ONE SHIP
SoftBank Business Partner



SoftBank 5G Consortium



MONET CONSORTIUM



NVIDIA
NVIDIA METROPOLIS



NTT PC COMMUNICATIONS
[Innovation LAB] NTTPCのAIコラボレーションプログラム
Innovation LAB

従業員数^{*1}の推移：持続的な成長のため、人員強化を継続

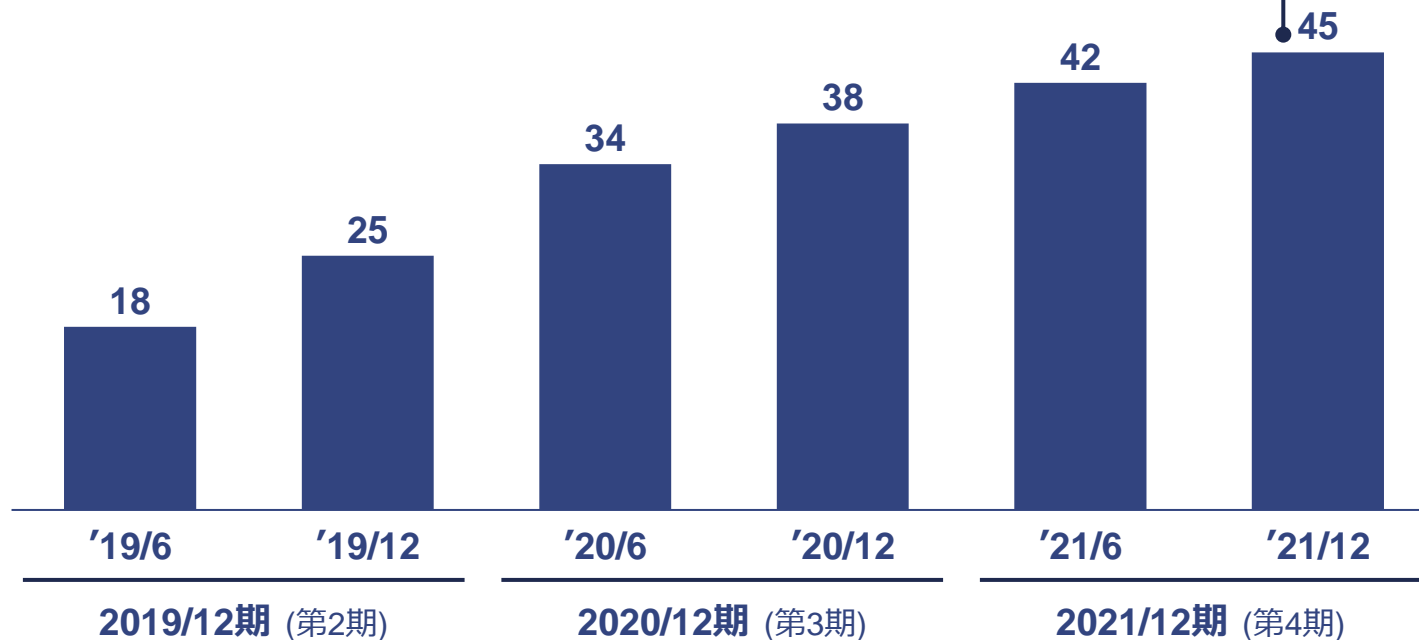


創業以来、エンジニアを中心に順調に組織を拡大。人員全体に占めるエンジニア構成割合は7割前後で、世界各国の優秀なAIエンジニアを採用。

7カ国出身 31人のエンジニア



※日本、イギリス、中国、韓国、インド、フランス、ロシア

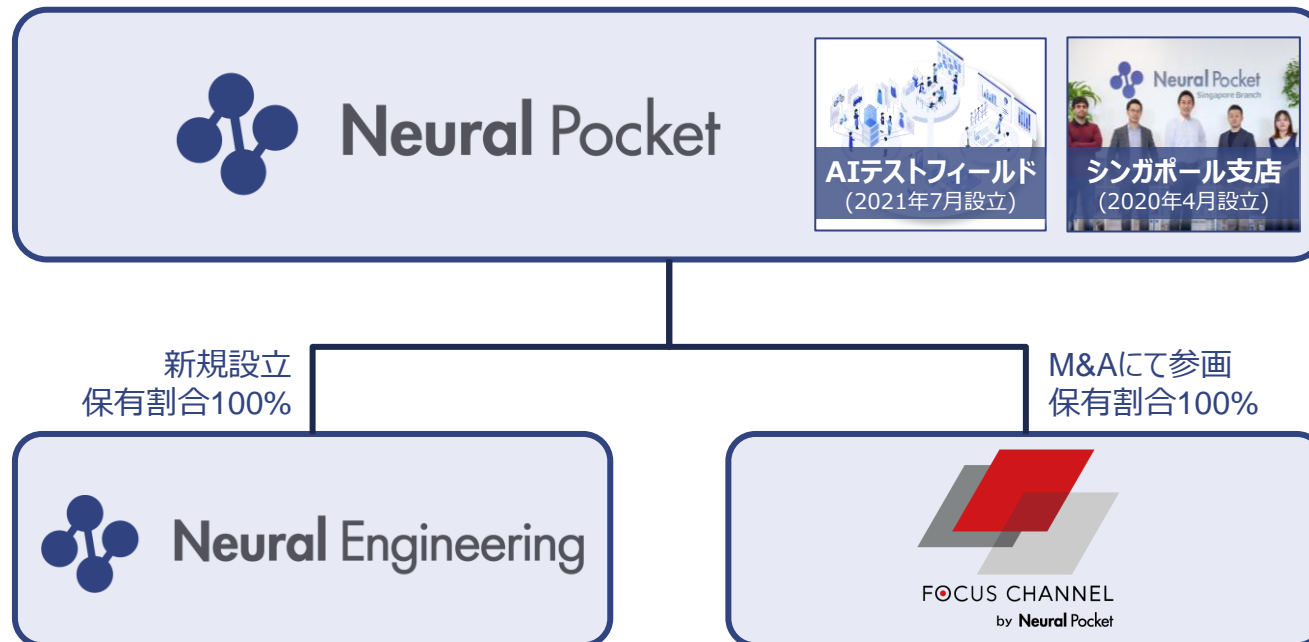


*1 正社員の合計。役員、パート・アルバイト、インターン等は含まない。

当社グループ体制



2021年10月に子会社『ニューラルエンジニアリング株式会社』設立、2021年11月に『株式会社フォーカスチャネル』の株式100%取得で完全子会社化実施で単体企業からグループ企業へ。2021年第4四半期より連結決算開始。



Neural Pocket



新規設立
保有割合100%



Neural Engineering

会社名： ニューラルエンジニアリング株式会社
設立日： 2021年10月1日
主な事業内容： エッジ AI 搭載機器の設置・運用、エッジ AIサービスの運用支援
代表： 岩切 翼（ニューラルポケット社 執行役員兼任）
取得許認可： 一般建設業許可（電気通信工事業）
 東京都知事 許可（般-3）第154664号

M&Aにて参画
保有割合100%



FOCUS CHANNEL
by Neural Pocket

会社名： 株式会社フォーカスチャネル
設立日： 2017年9月1日
主な事業内容： サイネージ広告事業、広告代理店業
代表： 周 涵（ニューラルポケット社 取締役兼任）

特許の取得状況



自社サービスを守る視点でコア技術の特許を戦略的に取得。特に重要となる技術は国際出願も行い、海外事業展開に向けた準備を進める。

国内出願中

累計

9件 (±0件)

() 内は昨年同月比較

国内取得済

累計

15件 (+5件)

() 内は昨年同月比較

国際出願中

出願中

4件 (+4件)

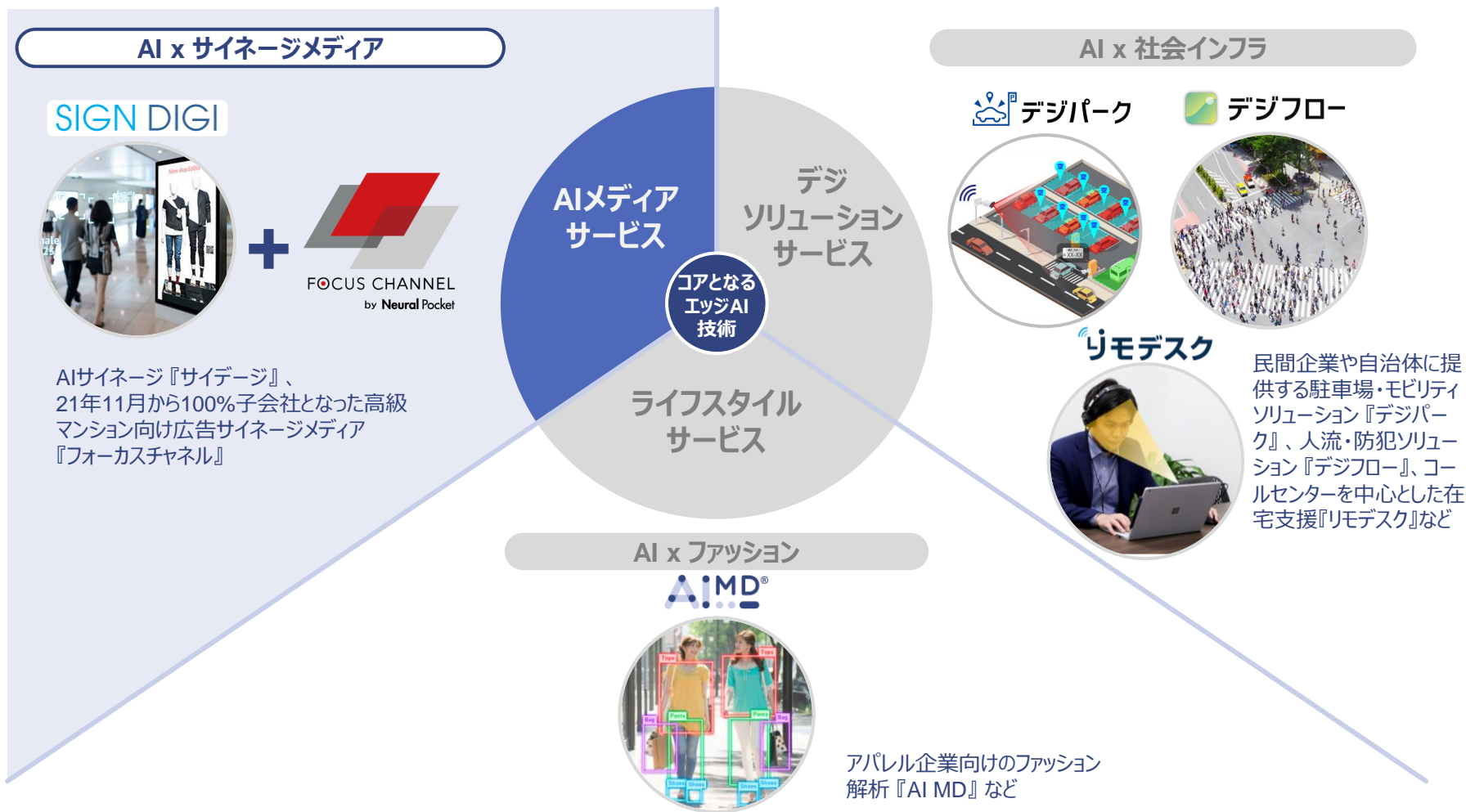
() 内は昨年同月比較



- 事業の概要と第4四半期ハイライト
- サービスドメインごとの事業進捗
 - AIメディアサービス
 - デジソリューションサービス
 - ライフスタイルサービス
- 中期的な事業飛躍に向けて

AIメディアサービスの事業進捗

👉 サイネージメディアサービス領域の『AIメディアサービス』は着実に導入数が増える中、21年11月に『フォーカスチャネル』子会社化により大きく事業が加速。現在、積極的な設置導入進行中で、国内最大級のサイネージメディア形成を目指す。

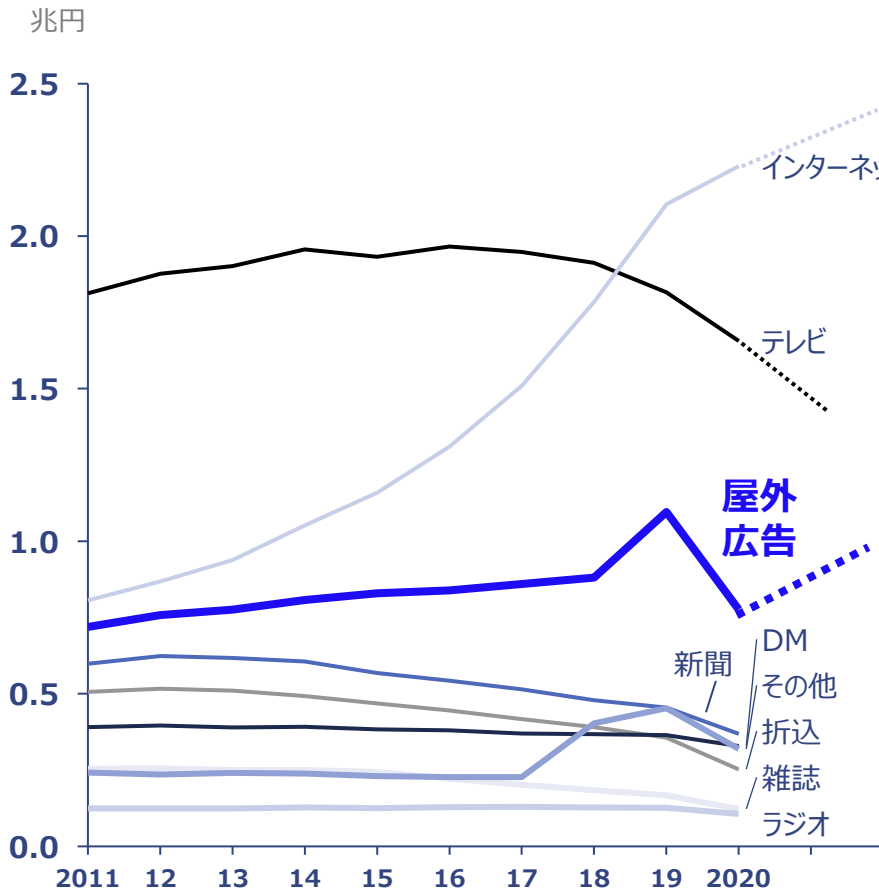


AIサイネージ『サイページ』、21年11月から100%子会社となった高級マンション向け広告サイネージメディア『フォーカスチャネル』

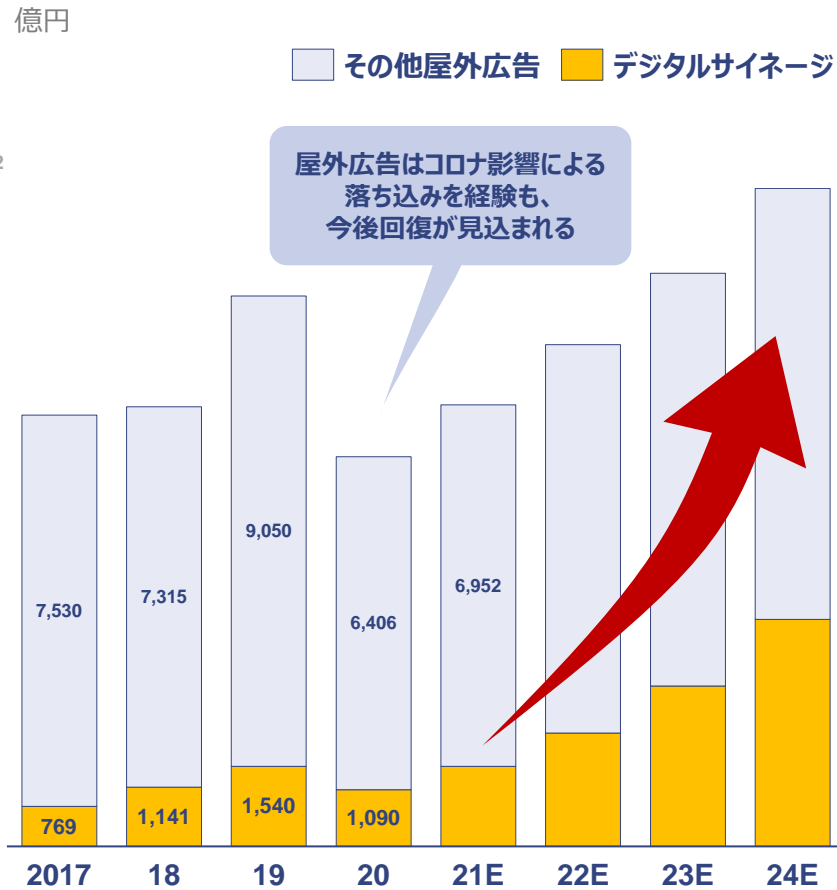
市場環境: デジタルサイネージは国内広告市場の中で大きく伸びていく

👉 屋外広告（OOH広告）はテレビ広告に次ぐ第3の規模の市場であり、その中でデジタルサイネージは特に今後の著しい成長が見込まれ、非常に魅力的なマーケット。

国内広告市場の推移^{*1}



屋外広告市場に占めるデジタルサイネージ^{*1}



¹ 当社調べ（株式会社電通調べ「2020年日本の広告費（2021年2月発表）」、矢野経済研究所調べ「デジタルサイネージ市場に関する調査を実施 2020年（2020年4月発表）」を元に推計。2020年以降屋外広告規模及びデジタルサイネージ市場規模は過去3年CAGRが継続するものと仮定し算定）
² インターネットは、クリック広告やオンライン動画サービス上の広告等、各種オンライン広告を含む

市場環境: 街空間において、デジタルサイネージ設置のポテンシャルは膨大に存在

👉 デジタルサイネージの潜在的な設置ロケーション候補は街空間に無尽蔵に存在をしており、屋外広告市場内のデジタルサイネージ比率の拡大に加えて、市場自体の大きな拡大ポテンシャルを有する。



ニューラルポケットが開発を行うAIサイネージの特徴

👉 ニューラルポケットでは、屋外広告市場の現在の課題を解決する、①広告ディスプレイの遠隔制御・管理機能、②効果測定機能を搭載したAIサイネージを開発・保有し、2019年より全国の商業施設を中心に多数設置稼働中。



表示コンテンツを一括で遠隔管理・入れ替えが可能

視聴結果をAIで自動解析、ダッシュボード表示

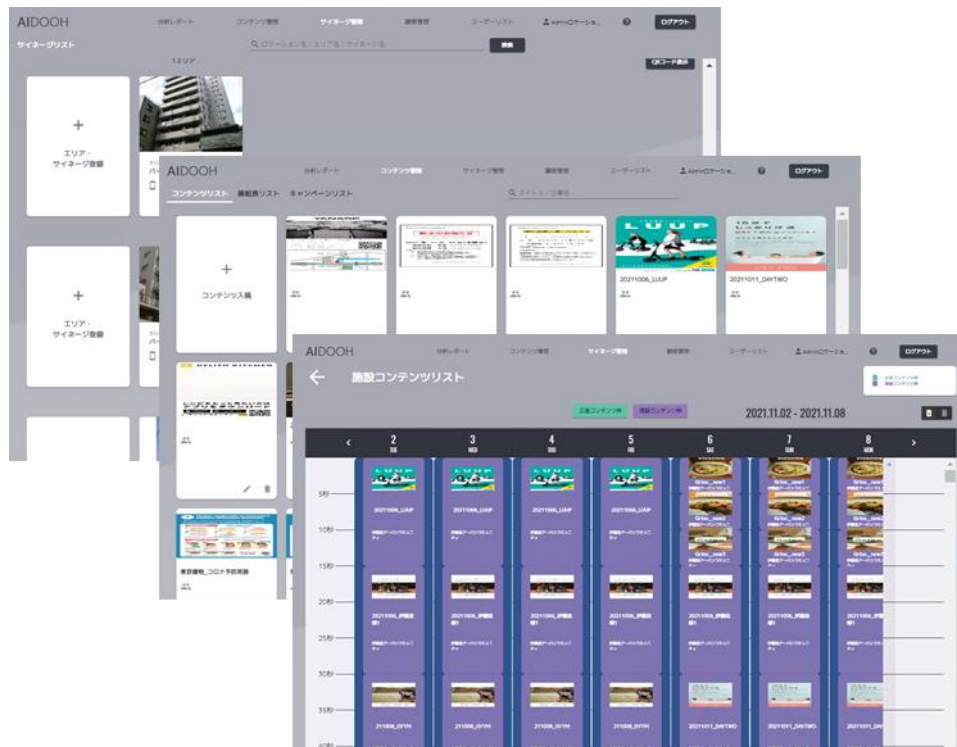


独自のコンテンツ配信システムにより、遠隔コンテンツ配信・サインージ端末管理を実現

👉 独自開発のコンテンツ配信システム (CMS)により、遠隔でのサインージ端末一斉制御を可能にし、円滑なコンテンツ配信や安定稼働の担保を実現。世界最高峰水準での安定的なIoTサインージ運用を達成。

独自のコンテンツ配信システム (CMS)

SIM回線で常時オンライン接続することで、現地に行くことなく、各端末に配信するコンテンツを自在に指定可能:
高度にIoT化されたデジタルサインージ運用を実現



AIサインージ稼働モニタリング

独自開発のAI端末稼働状況モニタリングツールで、世界最高水準での安定稼働を担保:
問題発生時には遠隔で自動レポート等対応が可能

STB稼働状況一覧							
登録端末数	通知対象端末数	正常稼働端末数	異常稼働端末数				
50	49	49	0				
#	STB ID	NW接続時刻	広告配信時刻	人流検定時刻	NW	広告	設置場所
50	80000392	2021/11/08-15:51:13	2021/11/08-15:51:47	2021/11/08-15:49:50			
49	80000348	2021/11/08-15:51:40	2021/11/08-15:50:43	2021/11/08-15:50:28	✓	✓	
48	80000293	2021/11/08-15:51:14	2021/11/08-15:50:23	2021/11/08-15:51:35	✓	✓	
47	80000398	2021/11/08-15:51:30	2021/11/08-15:51:54	2021/11/08-14:37:57	✓	✓	
46	80000282	2021/11/08-15:51:24	2021/11/08-15:51:55	2021/11/08-15:51:58	✓	✓	
45	80000395	2021/11/08-15:51:37	2021/11/08-15:50:51	2021/11/08-15:51:57	✓	✓	
44	80000083	2021/11/08-15:51:24	2021/11/08-15:51:32	2021/11/08-15:52:00	✓	✓	
43	80000079	2021/11/08-15:51:35	2021/11/08-15:51:50	2021/11/08-15:52:59	✓	✓	
42	80000067	2021/11/08-15:51:09	2021/11/08-15:51:43	2021/11/08-15:51:27	✓	✓	
41	80000399	2021/11/08-15:51:32	2021/11/08-15:51:03	2021/11/08-15:51:44	✓	✓	
40	80000404	2021/11/08-15:51:11	2021/11/08-15:51:42	2021/11/08-15:51:26	✓	✓	
39	80000402	2021/11/08-15:51:38	2021/11/08-15:50:57	2021/11/08-15:51:55	✓	✓	
38	80000401	2021/11/08-15:51:23	2021/11/08-15:51:53	2021/11/08-15:51:42	✓	✓	
37	80000400	2021/11/08-15:51:15	2021/11/08-15:51:55	2021/11/08-15:46:39	✓	✓	
36	80000403	2021/11/08-15:51:52	2021/11/08-15:51:46	2021/11/08-15:51:42	✓	✓	
35	80000255	2021/11/08-15:51:13	2021/11/08-15:51:55	2021/11/08-15:51:40	✓	✓	
34	80000262	2021/11/08-15:51:21	2021/11/08-15:51:54	2021/11/08-15:51:50	✓	✓	
33	80000363	2021/11/08-15:51:48	2021/11/08-15:51:58	2021/11/08-15:51:56	✓	✓	
32	80000416	2021/11/08-15:51:34	2021/11/08-15:51:58	2021/11/08-15:51:49	✓	✓	
31	80000260	2021/11/08-15:51:29	2021/11/08-15:51:59	2021/11/08-15:51:59	✓	✓	
30	80000337	2021/11/08-15:51:41	2021/11/08-15:51:41	2021/11/08-15:51:41	✓	✓	

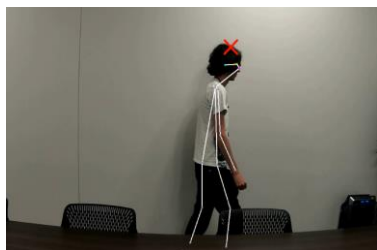
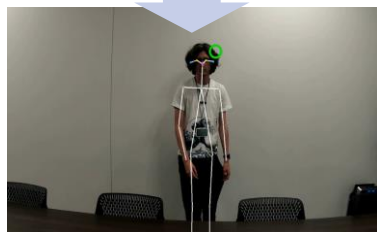
AIサインージの安定稼働率
(21年5-11月の7か月平均実績)

99.5%

AIカメラによる視聴率測定により、屋外広告サイネージでの効果測定を実現

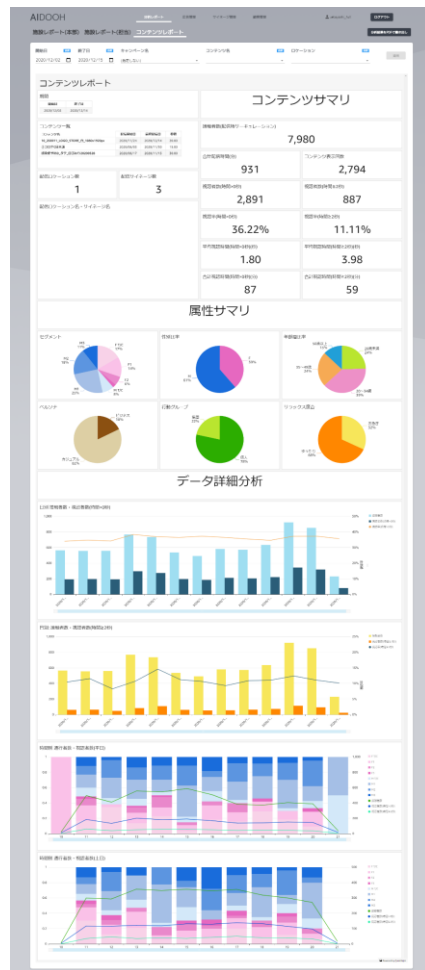
👉 エッジ処理により、プライバシーに配慮しながら、屋外広告メディアにおける視聴分析・効果測定が可能となり、これまで難しかった、インターネット広告水準のマーケティング分析を実現していく。

AI視聴分析



実際はプライバシーに配慮し、エッジ処理で分析

広告効果可視化



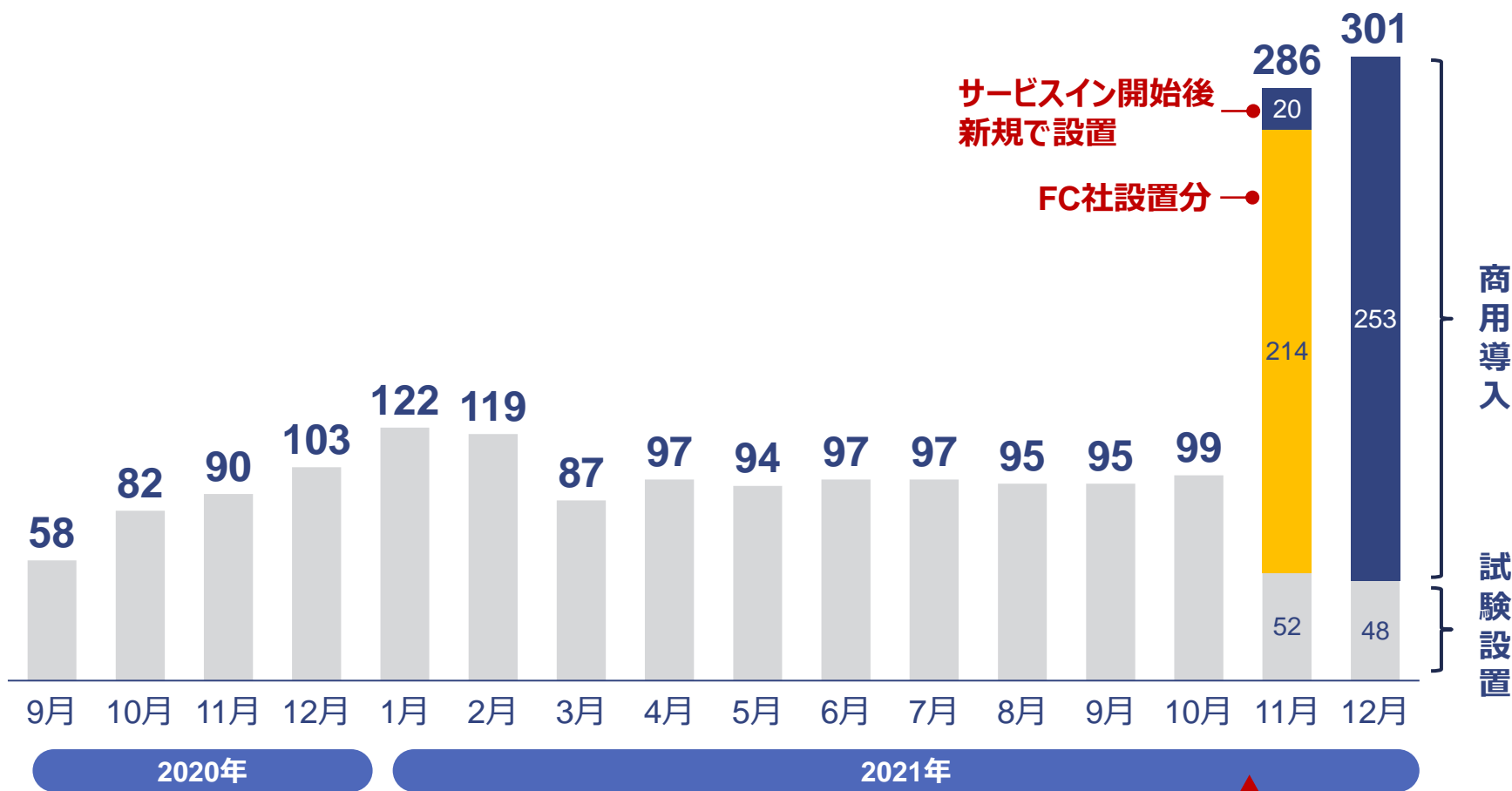
インターネット広告同様のマーケティングを可能に

複数コンテンツ間での
ABテスト比較

各広告の時間帯別視聴率比較

これまでのサイネージ設置ユニット数

👉 これまで商業施設や観光施設等への試験設置が着実に進み、堅調に100ユニット規模を20年-21年で推移。21年11月からの正式サービスイン開始に加えて、フォーカスチャネル社(FC)を子会社化したことで、設置ユニット数は一気に増大。



フォーカスチャネル社(FC)
完全子会社化

2021年11月よりフォーカスチャネル社子会社化で、マンションサイネージ事業に本格参入

 これまでの商業施設や道の駅等の観光施設等に加えて、マンション領域へのサイネージ設置を拡大。サイネージメディアとして非常に特徴的な属性を持つ領域に本格参入。

マンションサイネージの特徴



平均世帯年収
1,000万円超居住者

安定したペルソナと
確実な視聴

マンション管理情報
の放映との併存

明確なターゲ
ティングが可能

住所情報より
広告効果測定可能

設置先マンションの例 – 合計200棟以上、居住人口10万人以上

※()内は戸数



三菱地所

- ・ ザ・パークハウス西新宿タワー60 (954)
- ・ ザ・パークハウス横浜新子安がーテン (497)

三井不動産レジデンシャル

- ・ 勝どきザ・タワー (1,420)
- ・ ザ・東京タワーズ シータワー (1,333)
- ・ 芝浦アイランドケープタワー (1,095)
- ・ パークタワー晴海 (1,076)
- ・ パークコート赤坂ザ・タワー (518)



住友不動産

- ・ シティタワー有明 (483)
- ・ シティタワー高輪 (365)

大和ハウス工業

- ・ パシフィックロイヤルコートみなとみらいオーシャンタワー (412)
- ・ Dマークス西新宿タワー (125)




東京建物

- ・ ブリア有明スカイタワー (1,089)
- ・ ブリア武蔵小杉 (131)

野村不動産

- ・ プラウドタワー武蔵小杉 (450)

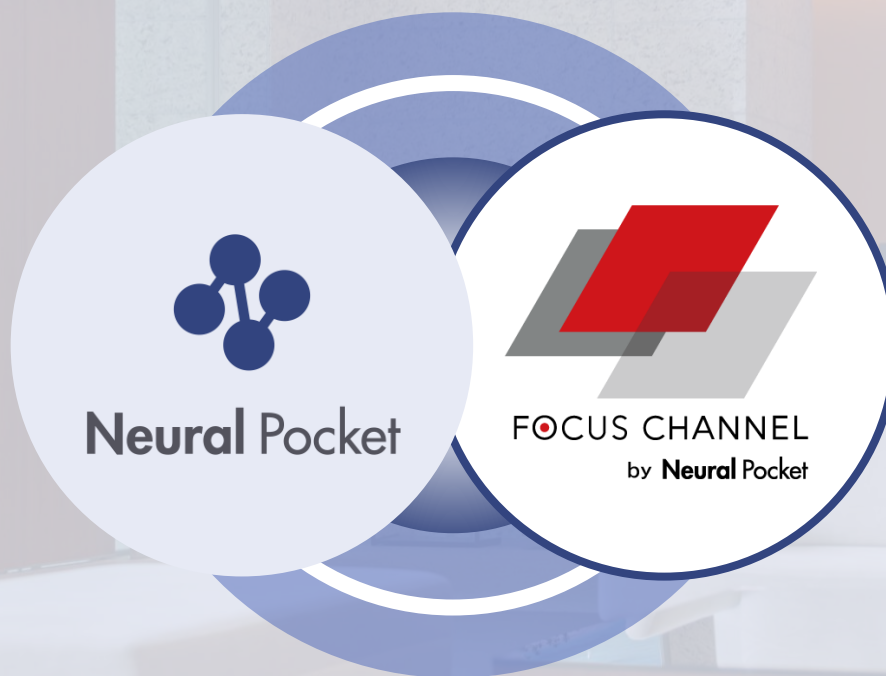
ニューラルポケットグループ内で大きな事業シナジーを創出していく

 ニューラルポケット本体とフォーカスチャネルそれぞれの特性や長所を結集し、マンションサイネージを起点として、サイネージメディア領域における事業シナジーを創出できる機会が大きく存在する。

視聴分析が可能な
独自AIサイネージ

安定的で効率的な
オペレーションを実現する
コンテンツ配信システム

AIサイネージ事業、
スマートシティ事業等を
通じて培った
広範なネットワーク



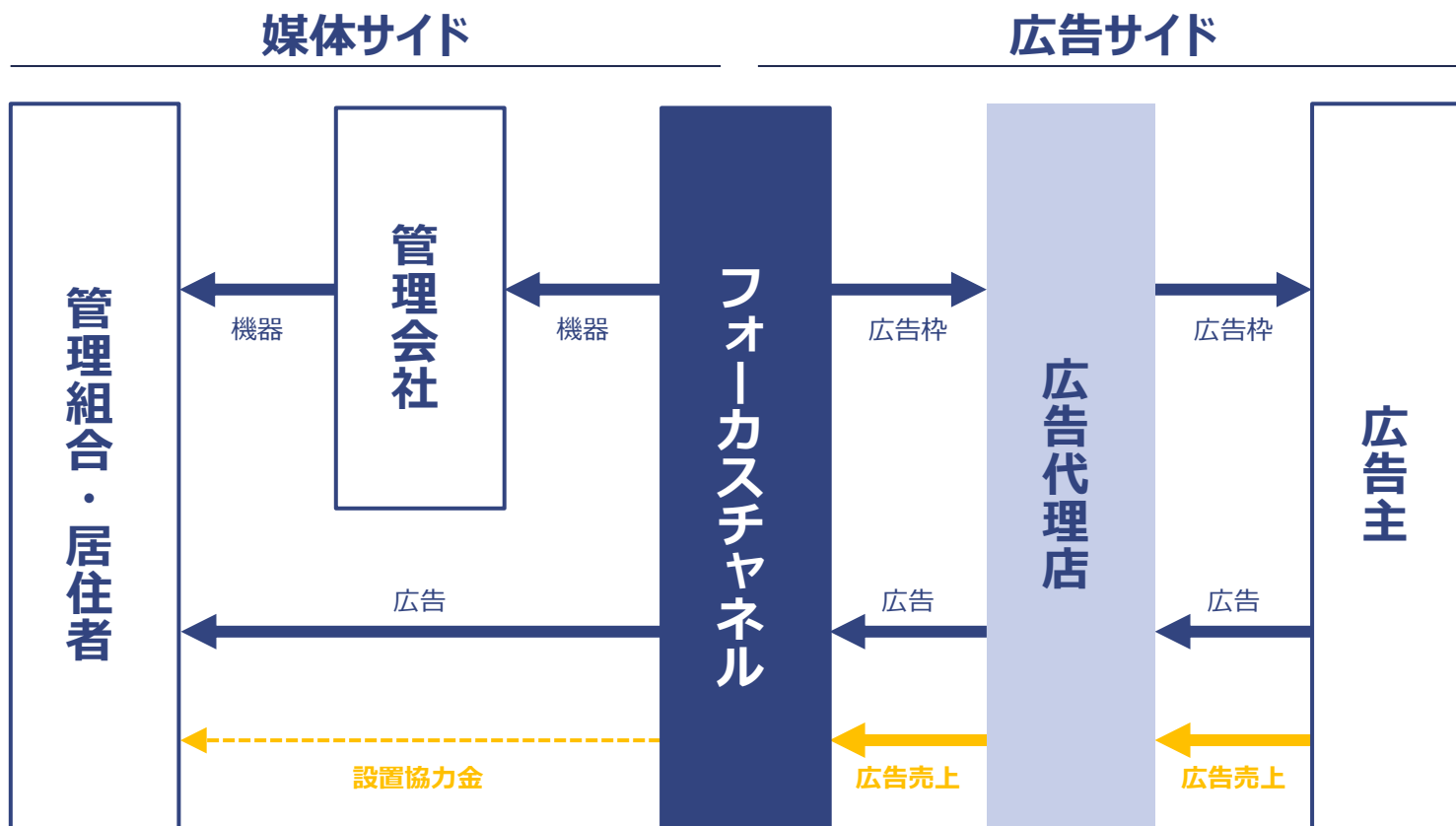
ハイグレードマンションに
おける唯一無二の
多数の広告面と
大きなリーチ人数

サイネージ設置および
広告配信オペレーション
に関するノウハウ

多数の広告代理店との
ネットワークと営業力

ビジネススキーム (マンションサイネージでの例)

👉 サイネージ事業において、メディア自体を所有するメディアオーナーになることで、メディア運営をより主体的に実施し、広告代理店等関係者と連携し、加速度的に事業展開を進めていく。



富裕層のプライベート空間に
広告を配信できる唯一無二のメディア。



都心マンションの感度の高い居住者へ
広告主様のメッセージをお届けします。

東京を中心に250棟を超えるマンションに展開。
生活者の興味関心に応じて、
洗練されたコンテンツを配信する
ライフスタイル提案型メディア。

Impression

コロナ禍でも卓越したリーチ数

Frequency

高頻度の視認による高い広告効果

Targeting

偏りなく世帯全体へ訴求が可能

設置棟数

250 棟

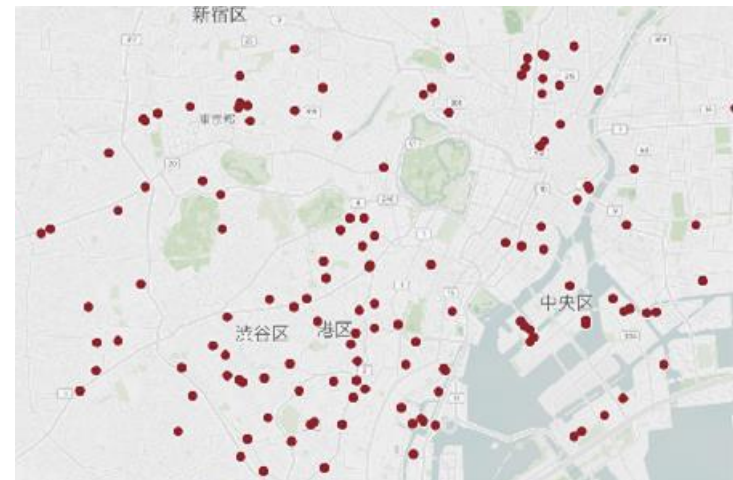
リーチ世帯数

53,000 世帯

リーチ人数

13万人~

※2022年2月時点



今後、設置先は数十倍規模に拡大予定

※設置先図示（一部抜粋）



マンション
サイネージ広告
業界1位
※当社調べ

Impression

コロナ影響を
受けずに
安定したリーチ数



Frequency

生活動線にあり
居住者全員に
繰り返し訴求



Targeting

ポスティング不可の
ハイグレード
マンションにも出稿



Measurable

住所との突合で
精度の高い効果測定



Reasonable

特徴的な層に
ピンポイントで
効率的に訴求



ザ・東京タワーズ (ミッドタワー)
 ザ・東京タワーズ (シータワー)
 勝どきザ・タワー
 パークタワー晴海
 晴海テラス
 ザ・晴海レジデンス
 KDX大伝馬レジデンス
 ザ・パークハビオ日本橋箱崎町
 KDXレジデンス日本橋水天宮
 KDXレジデンス日本橋箱崎
 レジディア三越前
 レジディア日本橋馬喰町
 レジディア月島II
 We Will 八丁堀
 レジディア銀座東
 プライムメゾン銀座イースト
 エスティメゾン銀座
 コスモボリス品川
 パークコート赤坂ザ・タワー
 グローバルフロントタワー
 芝浦アイランドケープタワー
 AQUACITY 芝浦
 アルブル高輪
 KDXレジデンス白金I
 KDXレジデンス白金II
 KDXレジデンス南麻布
 KDXレジデンス芝公園
 KDXレジデンス麻布イースト
 KDXレジデンス西麻布
 レジディアタワー麻布十番
 アーバンパーク麻布十番
 レジディア西麻布
 クリオ三田ラ・モード
 レキシントンスクエア白金高輪
 セントラルクリブ六本木1
 セントラルクリブ六本木2
 セントラルクリブ六本木3
 六本木エムケイアートレジデンス
 ホワイトタワー浜松町
 JUN HANABI
 レジデンス白金コロレ
 レジデンス白金パークフロント
 Wat's白金
 プライムメゾン白金高輪
 アーバンフラッツ芝浦 (エスティメ
 ズン芝浦)
 エスティメゾン麻布永坂
 コンフォリア田町
 ディームス麻布狸穴町 (パークハビ
 オ麻布狸穴町)

パークハビオ赤坂タワー
 赤坂氷川町レジデンス
 レジディア虎ノ門
 レジディアタワー乃木坂
 シティカレント南青山
 パークアクシス西麻布ステージ
 パークアクシス麻布仙台坂
 M F P Rコート赤坂見附
 パークアクシス赤坂見附
 カスタリア高輪
 カスタリア芝公園
 ブラウドフラット白金高輪
 KDXレジデンス半蔵門
 スペースシア秋葉原
 パークハビオ飯田橋
 レジディア九段下
 CITY CURRENT大手町
 レジディア水道橋
 フォレシティ秋葉原
 レジディア御茶ノ水III
 KDX代官山レジデンス
 KDXレジデンス西原
 KDXレジデンス恵比寿
 プライムメゾン恵比寿
 エスティメゾン笹塚
 プライムメゾン渋谷
 パークハビオ渋谷本町レジデ
 ス
 コンフォリア笹塚
 コンフォリア原宿
 コンフォリア北参道
 パークハビオ恵比寿
 レジディア広尾II
 レジディア恵比寿II
 パークアクシス代官山
 M F P R代々木タワー
 Dクラウディアイヴァン初台
 フォレシティ富ヶ谷
 クイズ恵比寿
 カスタリア初台
 ビンコンタワーレジデンス
 キャナルファーストタワー
 ザ・豊洲タワー
 オリゾンマール
 U Rコート錦糸町
 アーデン清澄白河
 エコロジエ東陽町プロセンチュ
 リー
 エスティメゾン大島
 コンフォリア豊洲

コンフォリア亀戸サウス
 シティタワー有明
 プリリア有明スカイタワー
 クレヴィアリグゼ門前仲町
 パークハビオ門前仲町
 KDXレジデンス豊洲
 M F P Rコート木場公園
 ロイヤルパークス豊洲
 コスモザ・チャンネル東京イースト
 レジデントプレイスイ葛西
 アクラス
 クリスタルマークス
 コンフォリア新中野
 ザ・パークハウス西新宿タワー60
 ザ・パークハビオ新宿
 KDXレジデンス東新宿
 Dマークス西新宿タワー
 KDXレジデンス西新宿
 プライムメゾン市谷山伏町
 エスティメゾン東新宿
 コンフォリア新宿イーストサイドタワー
 コンフォリア東新宿ステーションフロント
 レジディア市ヶ谷
 ザ・パークハビオ早稲田
 河田町ガーデン/クラブフロア
 河田町ガーデン/1号棟
 河田町ガーデン/2号棟
 CONTRAL nakameguro / コントラル中目黒
 コンフォリア渋谷ウエスト
 KDXレジデンス自由が丘
 レジディア祐天寺
 レジディアタワー中目黒
 ザ・パークハビオ目黒
 M F P R目黒タワー
 レジディア目黒IV
 カスタリア中目黒
 プライムアーバン目黒大橋ヒルズ
 ルーブル目黒不動前
 品川シーサイドレジデンス
 KDXレジデンス戸越
 KDXレジデンス品川シーサイド
 レジディア島津山
 ベルファース目黒
 カスタリア目黒かむろ坂
 カスタリアタワー品川シーサイド
 エスティメゾン品川シーサイド I
 エスティメゾン品川シーサイド II
 エスティメゾン品川シーサイド III

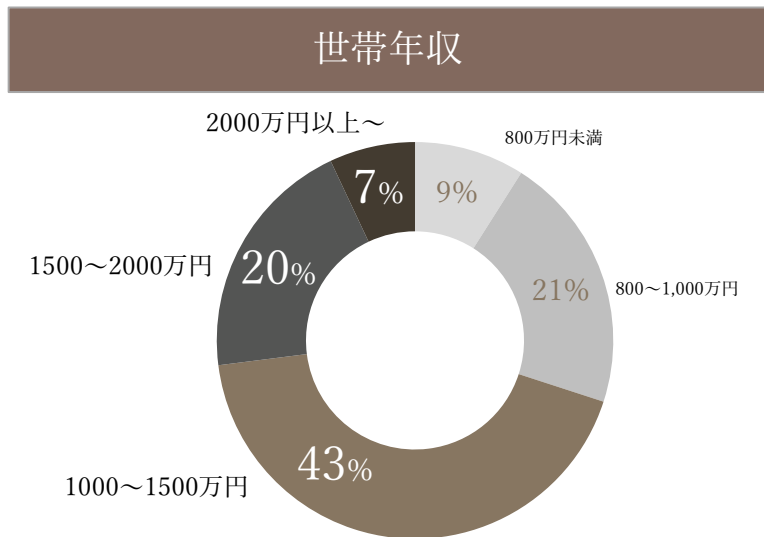
エスティメゾン東品川
 エスティメゾン大井仙台坂
 コンフォリア目黒長者丸
 プライムメゾン白金台タワー
 ザ・パークハビオ品川戸越
 レジディア東品川
 オアゼ品川レジデンス
 パークキューブ東品川
 カスタリア戸越
 カスタリア中延
 ブラウドフラット戸越公園
 レジディア東品川
 ベルファース三宿
 エスティメゾン代沢
 コンフォリア駒場
 レジディア三軒茶屋
 ザ・パークハビオ三軒茶屋テラス
 ベルファース本郷弓町
 KDXレジデンス西京京日
 コンフォリア文京春日
 パークアクシス文京ステージ
 ベルファース東十条
 コンフォリア滝野川
 ロイヤルパークスリバーサイド
 グリーンフォレストパークアリーナ
 ロイヤルパークス西新井
 ロイヤルパークスシーサー
 エスティメゾン秋葉原
 コンフォリア浅草橋
 パークハビオ秋葉原
 パークハビオ秋葉原エスト
 KDXレジデンス上野レジデンス
 ザ・パークハビオ上野御徒町
 レジディア上野御徒町
 パークアクシス元浅草ステージ
 パークキューブ上野
 カスタリア北上野
 レジディア桜並方南町
 ロイヤルパークス荻窪
 東京サーハウス
 T K田園調布レイディースフラッツ
 ベルファース蒲田
 コンフォリア西蒲田
 フォレシティ新蒲田
 パークアクシス蒲田ステーションゲート
 KDXレジデンス大山
 ヒルトップスクエア
 パークスクエア成増
 THE ITABASHIテラス
 シティテラス加賀

レジディア板橋
 レジディアタワー上池袋 (タワー棟)
 レジディアタワー上池袋 (パーク棟)
 ba apartment
 レジディア目白
 ウェストパークタワー池袋
 コンフォリア東池袋WEST
 ザ・パークハビオ巣鴨
 カスタリア大塚
 グランドメゾン池袋壹番館
 コンフォリア成増
 ロイヤルパークス若葉台
 シティテラス昭島
 ロイヤルパークス花小金井
 プライズ・ヒル
 ザ・パークハウス横浜新子安ガーデン
 パークコート山下公園
 パシフィックロイヤルコートみなとみらいオーシャンタ
 ワー
 パシフィックロイヤルコートみなとみらいアーバンタワー
 ロイヤルタワー横濱鶴見
 シティテラス横濱サウス ザ・ガーデン
 ジェイグランドディア日吉
 レジデンス・ザ・武蔵小杉
 リエトコート武蔵小杉 ザ・クラッシィタワー
 パークシティー武蔵小杉 ミッドスカイタワー
 パークシティー武蔵小杉 ザガーデン タワーズ イースト
 プリリア武蔵小杉
 リエトコート武蔵小杉 イーストタワー
 ブラウドタワー武蔵小杉
 シティタワー武蔵小杉
 パークシティー武蔵小杉 ザガーデン タワーズ ウェスト
 THE KOSUGI TOWER
 パークシティー武蔵小杉 ステーションフォレストタワー
 パークシティー武蔵小杉サグランドウイングタワー
 Kosugi 3rd Avenue The Residence
 ザ・タワー&パークス田園都市溝の口
 ベリスタ溝の口
 溝の口ガーデンアクアス
 レイディアントシティ向ヶ丘遊園 (イタリア街区)
 シティテラス川崎鈴木町グランドシーズンズ
 シティテラス川崎鈴木町ガーデンズ
 エンゼルソリスイート海老名
 武蔵浦和SKY&GARDEN
 シティタワー上尾駅前
 コンフォリア成増グリーンサンイード
 ロイジェントパークス千葉中央
 ロイヤルパークス船橋
 グランノア八千代台

ビジネスで活躍する
流行に敏感で購買意欲の高い層へ繰り返しリーチ可能。

都心マンションに居住する、
世帯年収1,000万円以上の層が70%を占める。
ファミリー向けマンションが中心のため、
男女割合に偏りは少なく世帯全体が対象。

こうした層へ、視認性の高いデジタル
サイネージで繰り返しブランドを訴求可能



世帯年収1000万円以上が

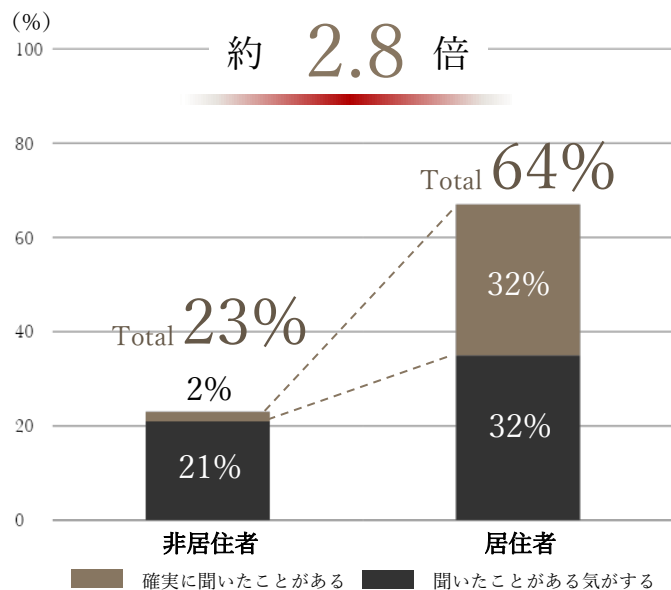
約 **70%** ※分譲価格から推計

居住者の視聴意向上を高めるために、マンション側のお知らせや、ライフスタイルに応じたコンテンツを、広告と併せて配信。



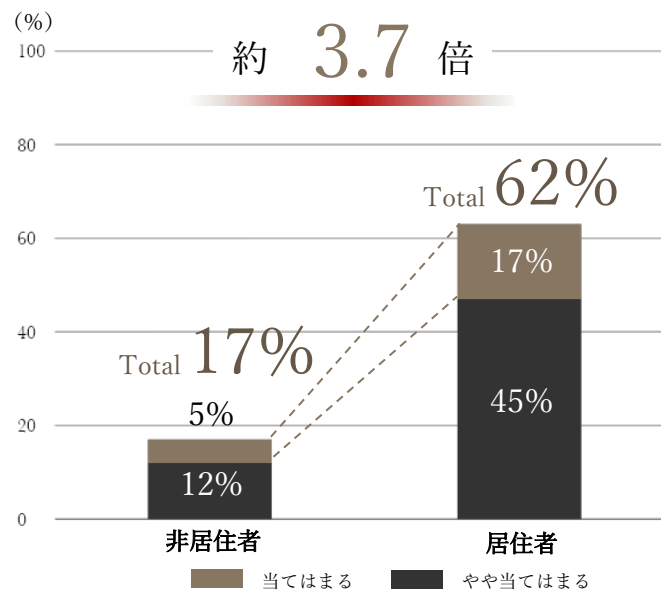
高いブランドリフト効果を得られ、
商品・サービスの認知、理解の向上に寄与。

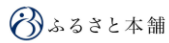
広告に関する認知変容



調査委託先: マクロミル 調査期間: 2021年6月

サービス・商品の特徴理解





ターゲティング効果が大きく、他の広告経由に比べ、
成果に大幅につながっています

株式会社ふるさと本舗 マーケティングマネージャー 本山様



ターゲットにダイレクトに訴求した
広告配信ができ、事業展開に成功しました

株式会社阪急阪神百貨店 フード商品統括部 新規事業開発部 中村様



集客面で実際にサイネージの効果を実感し、
毎年継続的に出稿をしています

株式会社 希学園（首都圏） 広報・広告宣伝 笹山様

AIメディアサービスにおける収益構造の考え方

 AIメディアサービスの収益構造は、広告料収入がベースとなっており、サイネージ1ユニットあたりの収益とサイネージ総設置ユニット数の掛け算に分解して、KPI管理が可能。

AIメディア
サービス
全体収益

=

サイネージ
1ユニット
あたり収益

×

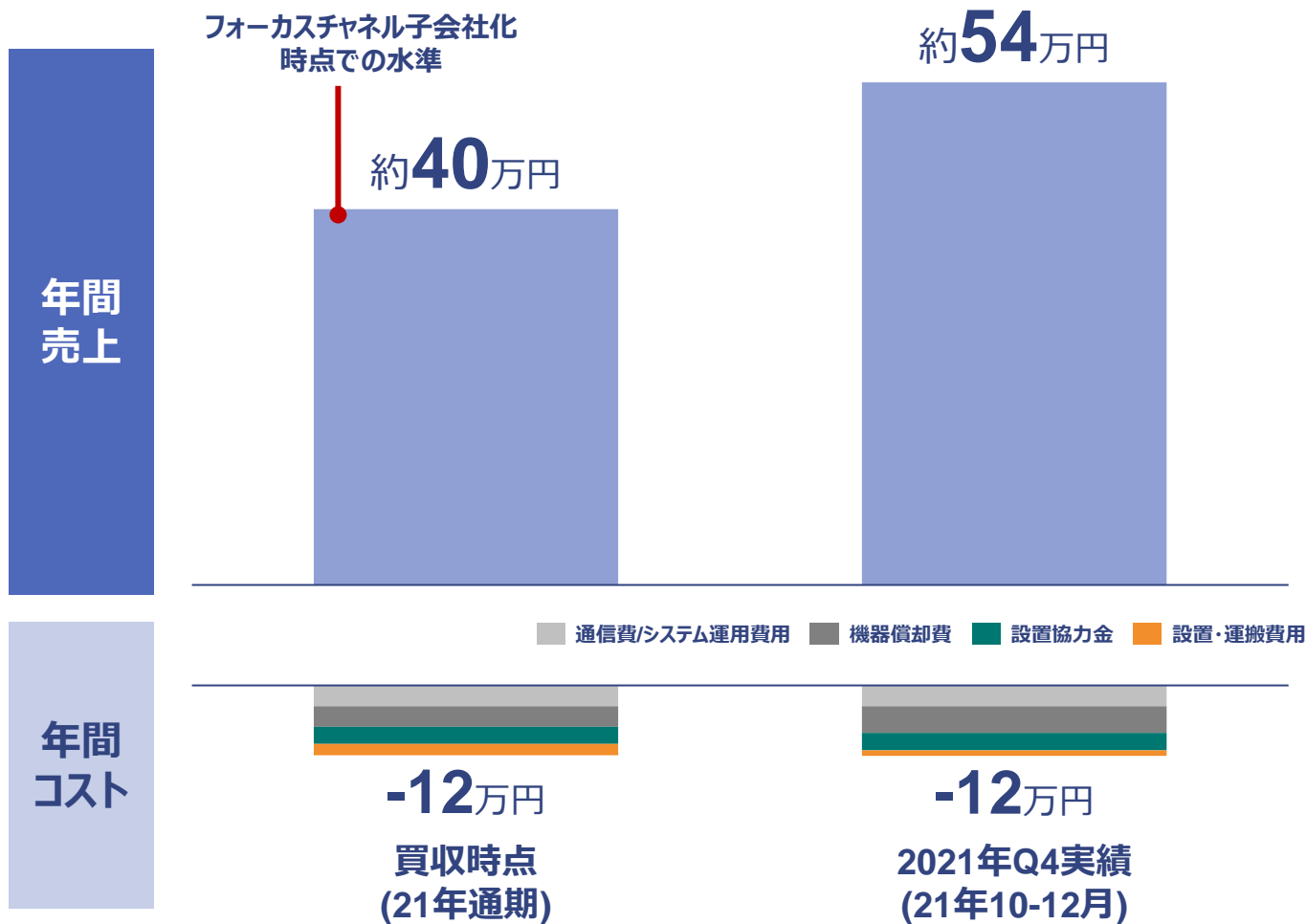
サイネージ
総設置
ユニット数

- 基本的には、サイネージによる広告収益
- 広告代理店手数料を含めたグロス売上の計上を想定

- 各ロケーションにおけるサイネージ設置数
- 21年11月時点では、約230台が出発点

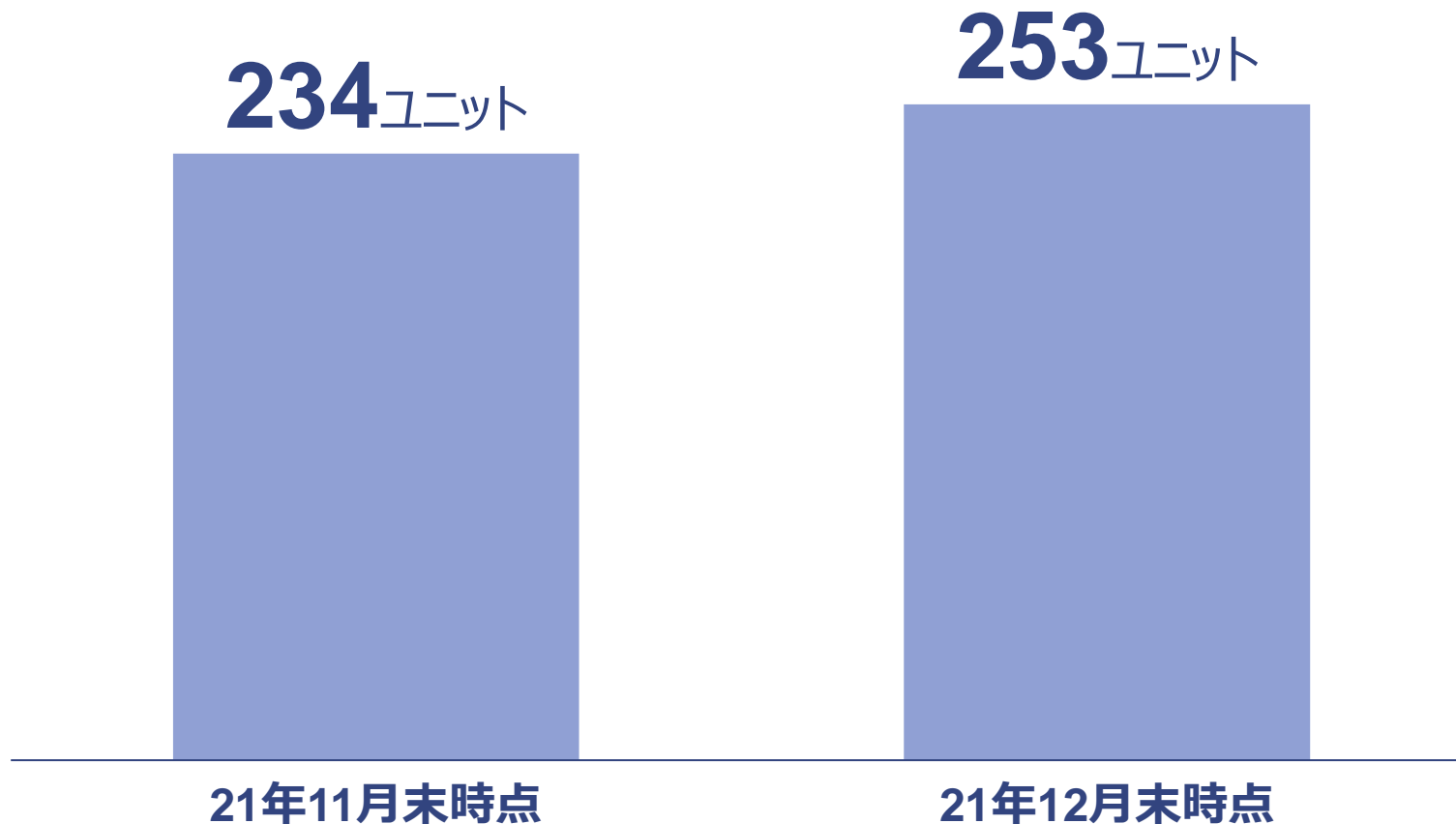
サイネージ1ユニットあたり収益

👉 サイネージの1ユニットあたり収益は、広告代理店手数料を控除したネット広告売上は増大機会が存在する一方で、費用面は基本固定であることから、構造上、収益率は年を追うごとに改善。買収後から収益性向上が進捗中。



サイネージ総設置ユニット数

👉 フォーカスチャネル社での現状に対して、大規模に首都圏・関西圏を中心にマンション・オフィスビルにて拡大することで、メディア価値を向上させ、急速に日本最大級の屋外広告メディアの形成を目指す。拡大1か月での滑り出しは順調。2022年12月期末の2,000台設置に向け推進中。



- 事業の概要と第4四半期ハイライト
- **サービスドメインごとの事業進捗**
 - AIメディアサービス
 - **デジソリューションサービス**
 - ライフスタイルサービス
- 中期的な事業飛躍に向けて

デジソリューションサービスの事業進捗

👉 社会インフラ領域の『デジソリューションサービス』は、民間・公共それぞれで、実証実験に留まらない実導入実績が拡大。今後、全国規模の導入に向け、子会社であるニューラルエンジニアリングも設立で、取り組みを加速する。

AI x サイネージメディア

SIGN DIGI



AIサイネージ『サイページ』、
21年11月から100%子会社となった高級
マンション向け広告サイネージメディア
『フォーカスチャネル』

AI x 社会インフラ

🏠 デジパーク



👤 デジフロー



💻 リモデスク



民間企業や自治体
に提供する駐
車場・モビリティソ
リューション『デジ
パーク』、人流・
防犯ソリューション
『デジフロー』、コ
ールセンターを中心
とした在宅支援
『リモデスク』など

AIメディア
サービス

デジ
ソリューション
サービス

コアとなる
エッジAI
技術

ライフスタイル
サービス

AI x ファッション

AI:MD®



アパレル企業向けのファッション
解析『AI MD』など

デジソリューションサービスの概要

デジソリューションサービスは現在、デジパーク・デジフローの2ラインナップ及びリモデスクを中心に、様々なAI検知機能を展開。設置先にあわせた機器選定を行い、顧客に安定した品質でソリューションを提供。

AI検知メニュー例

当社が提供するAI検知機器 (一部抜粋)

デジパーク



満空把握



車番認識

デジフロー



人流・車流計測



侵入検知



座席満空



AI
エッジ
機器
セット



AI
カメラ



AIエッジ機器・カメラの安定稼働率
(21年5-11月の過去6か月平均実績)

98.5%

市場環境: 街空間にて、デジソリューションサービスを活用可能なマーケットは膨大に存在

👉 すでにデジソリューションサービスを提供している実績があるロケーション種別だけで膨大な市場規模が存在し、今後のさらなる潜在的な設置ロケーションの広がり膨大。

デジソリューションサービスをすでに提供してきたロケーション種別の潜在的設置先数

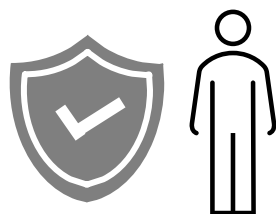


当社のデジソリューションサービスの特徴

エッジAIの特徴を活かし、プライバシーを守りながら、低ランニングコストで高い認識精度を達成することが可能。

プライバシー保護

解析されたカメラ映像は
デバイス内で**即時消去**



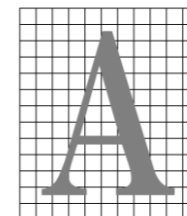
ランニング費用

AI処理後データのみ送信し、
通信・サーバ費用を抑制

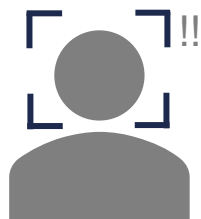


AI認識精度

カメラからの**高解像度画像**
をその場で処理し、AI認識
精度も高い



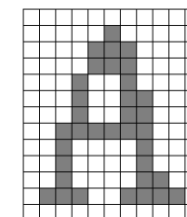
カメラ映像を**クラウドに**
アップロードして処理



映像送信が必要で、**通信・**
サーバコスト低減に限界



映像を圧縮送信するため
画質が劣化しAI解析に制約



従来のAI解析
(主にクラウド型)

駐車場管理ソリューション: デジパーク

👉 デジパークでは、お客様側で直感的に簡単に操作するだけで、自在に検知したい駐車スペースの設定ができ、複雑な工事や作業を伴わずに、駐車場の利用状況をリアルタイムに把握することが可能。

簡単に検知エリア設定

車室・車路満空をリアルタイム可視化




デジパーク:東京建物運営「SMARK伊勢崎」(商業施設)での導入事例

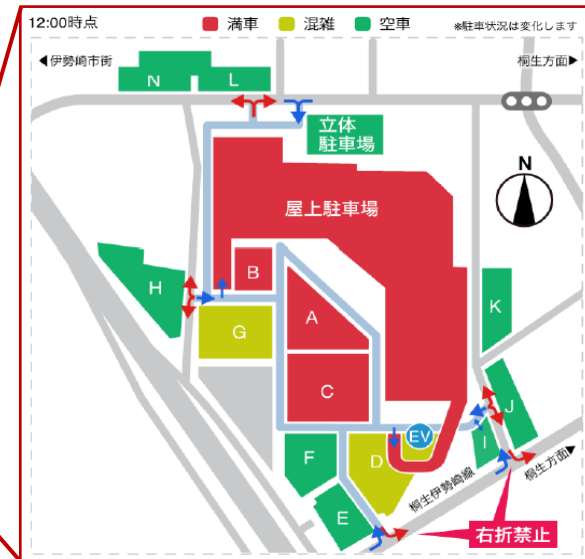
👉 SMARK伊勢崎での導入事例においては、AIカメラによる満空把握結果を、①施設HPで自由に閲覧可能、②現地に設置した屋外サイネージ・満空灯による円滑誘導を行うことで、利用者の顧客体験の改善につなげている。



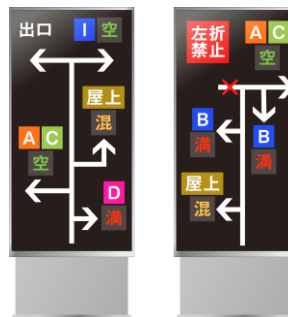
実際のAIカメラ検知のイメージ



施設HPで
事前に
混雑案内



現地では
屋外
サイネージ
車両誘導※



※屋外サイネージ・満空灯の実運用開始は、2022年2月頃を予定

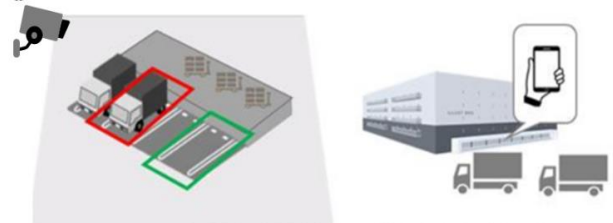
デジパーク:三菱地所運営「ロジクロス海老名」(物流施設)での導入事例

👉 ロジクロス海老名での導入事例においては、トラックバースの利用状況・受付状況を、防犯カメラ映像を用いて可視化し、スムーズな誘導や作業指示につなげることで、物流施設入居先の物流企業の業務効率化に役立っている。



AI
トラックバース
満空管理

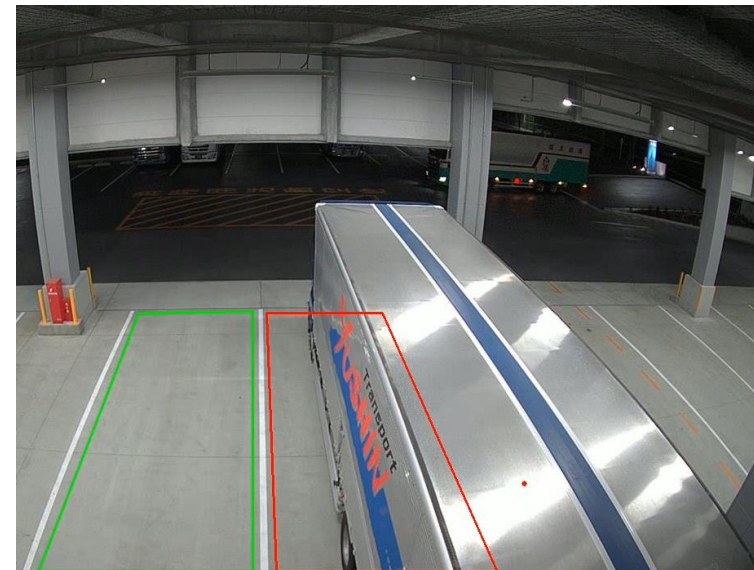
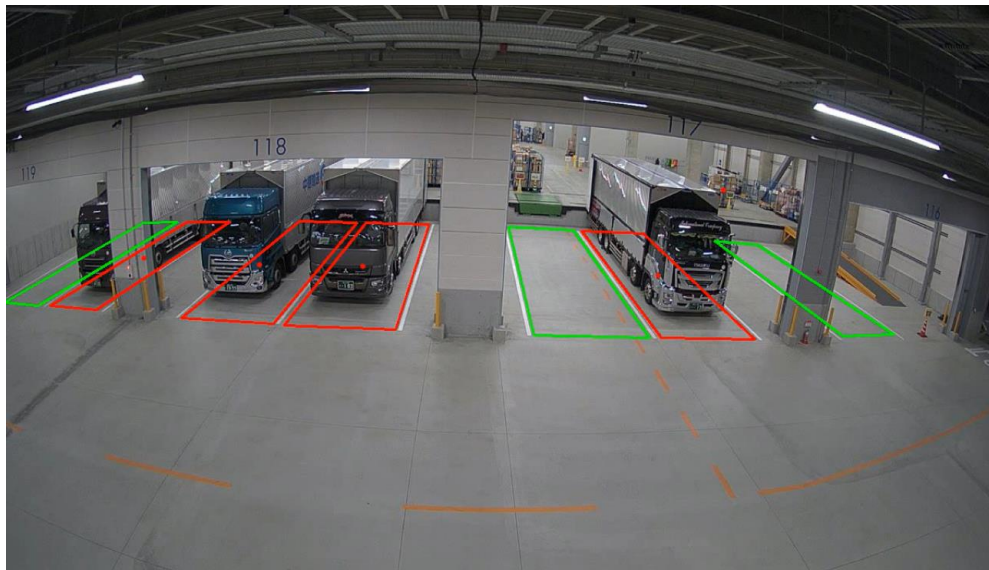
リアルタイム解析で日常的な倉庫オペレーションに活用



トラック運転手の待ち時間解消など
日常的な倉庫オペレーションに活用



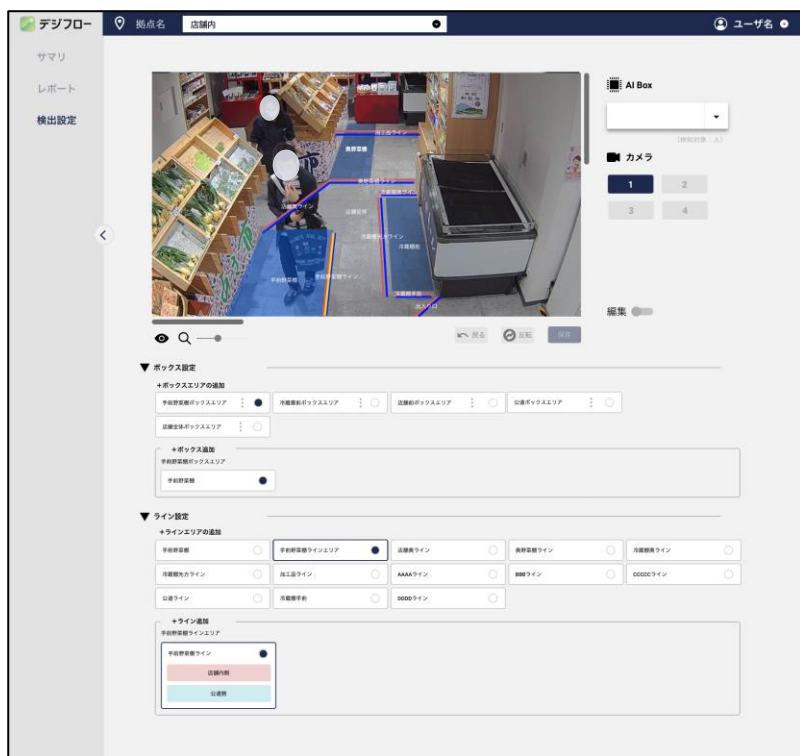
トラック配車や荷物の積み下ろし作業
における改善点の抽出



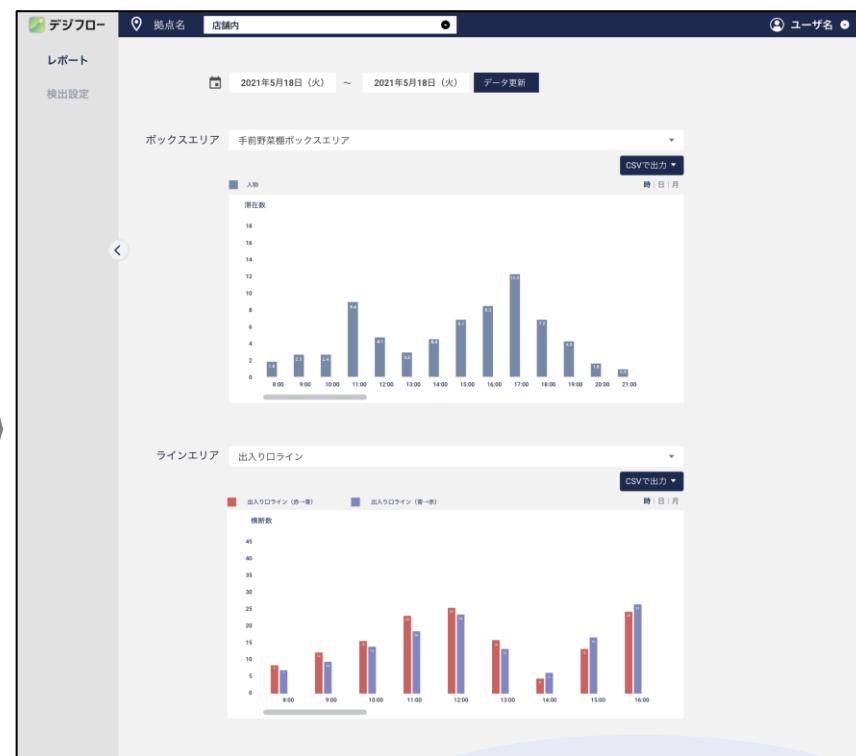
人流解析ソリューション: デジフロー

👉 デジフローでは、お客様側で直感的に簡単に操作するだけで、自在に検知したいエリア・検知内容の設定ができ、複雑な工事や作業を伴わずに、指定エリアでの人などの動き、侵入検知など各種機能を利用可能。

簡単に検知エリアと内容の設定



人流把握・侵入検知等が簡単に利用可能



ユースケースにあわせて、
パトランプや屋外サイネージ等の
外部機器・システムと連携

デジフロー：三井不動産と連携した「柏の葉スマートシティ」での導入事例

👉 柏の葉キャンパス駅周辺地域での導入事例においては、街区に約30台のAIカメラを設置し、街の見守り・安全に向けたサービス提供や、居住者・来街者の住みやすさ・過ごしやすさ向上に取り組んでいる。

カメラ設置位置マップ

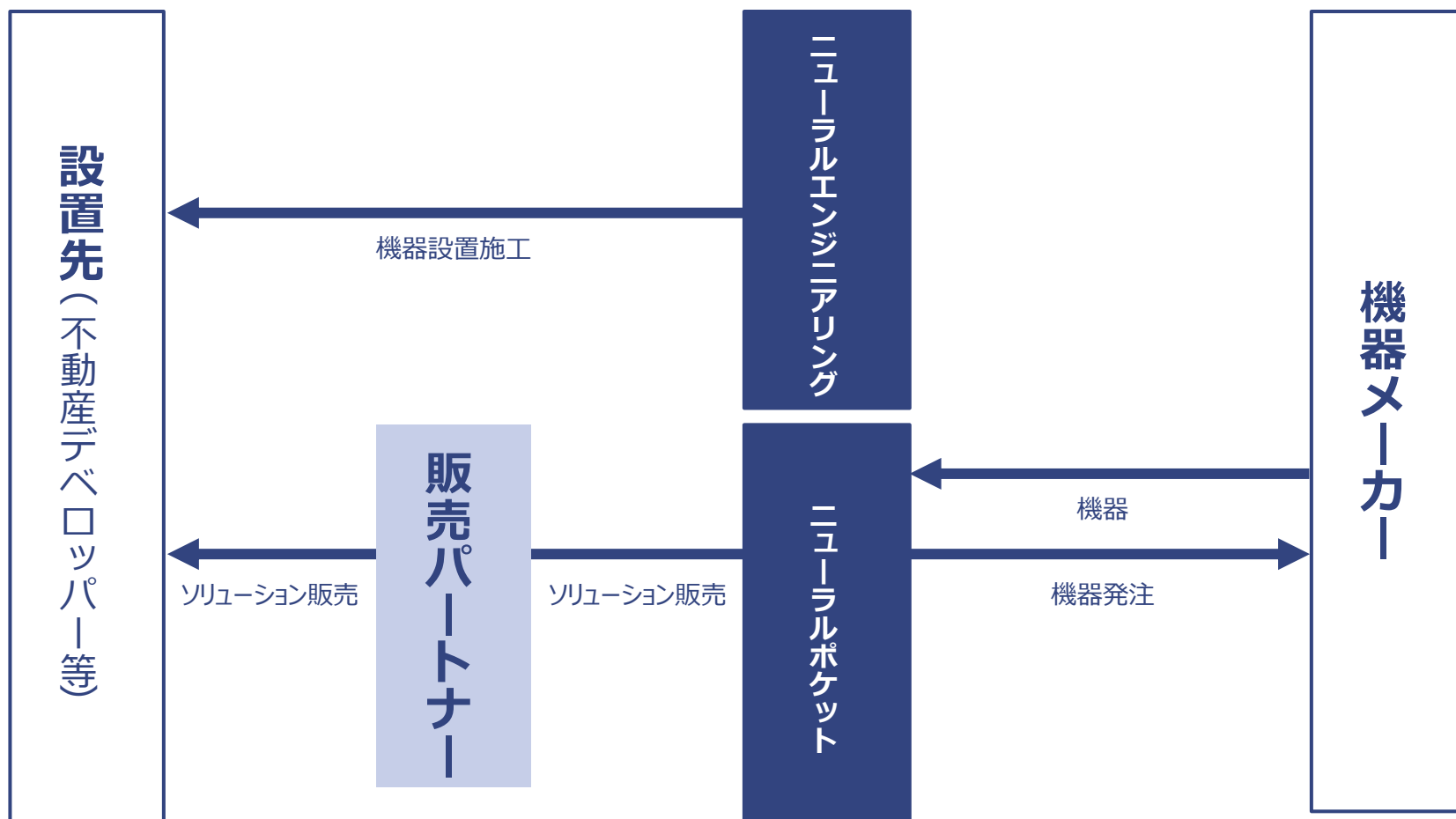


導入予定のAI検知内容



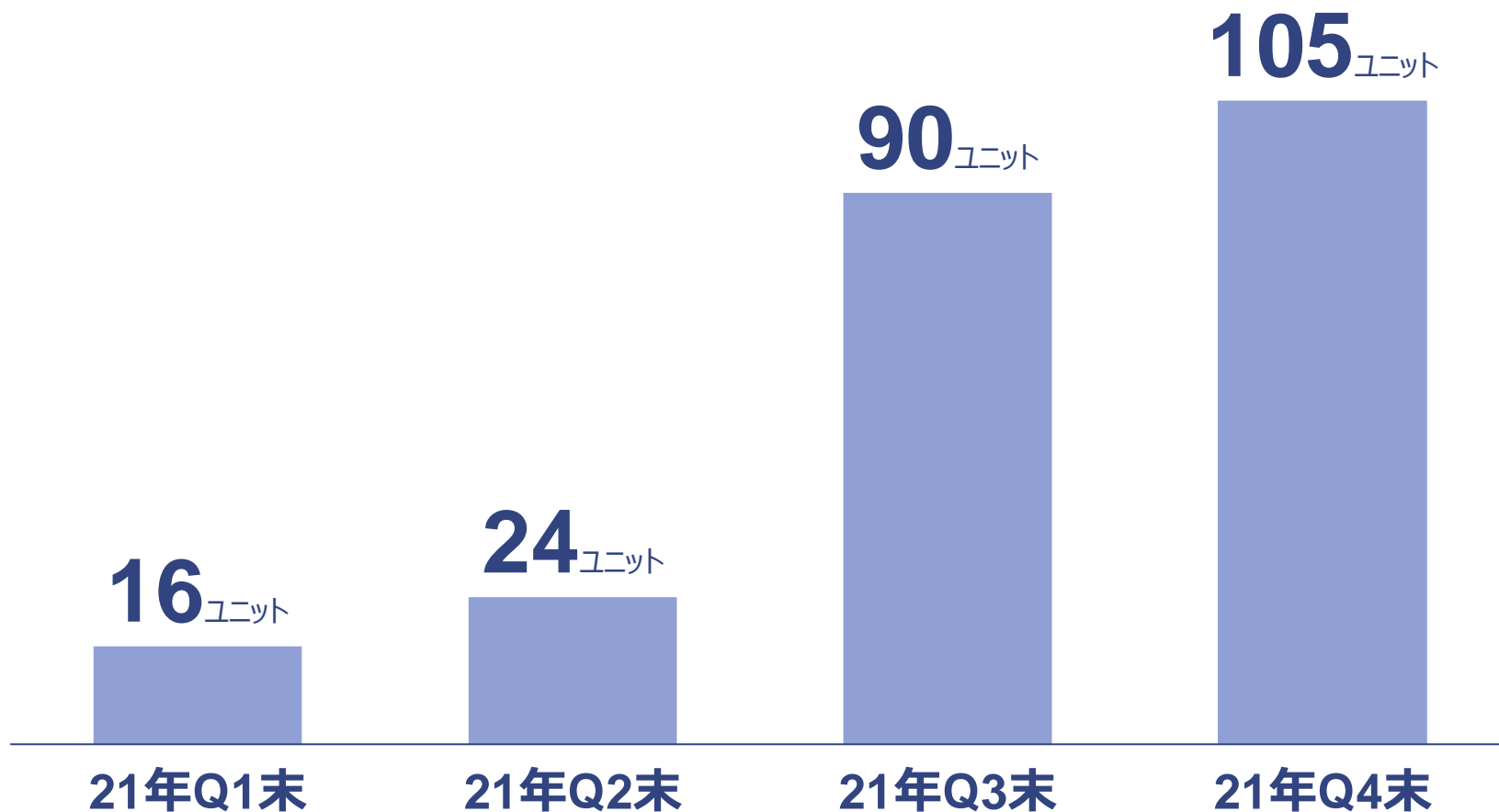
ビジネススキーム: 子会社のニューラルエンジニアリングを活用し、事業を展開

👉 デジソリューションサービスは、駐車場等設置ロケーションでの施工を伴うことも多く、子会社のニューラルエンジニアリングを活用し、販売パートナーとも連携しながら、広範囲に設置拠点を拡大していく計画。



デジソリューションサービスの累計設置・導入ユニット数および今後の計画

👉 デジパーク・デジフローは2021年において、着実に導入ユニット数を拡大しており、2021年Q4設立のニューラルエンジニアリング社を活用し、設置・導入規模の拡大を進める。当初計画に則り、22年Q1期末150台設置に向けて進捗。



デジタルソリューションサービスを中心に、多くの街づくりの中で採用・導入が進む

民間・公共向けともに、各地での導入展開が進み、全国で実際の施設運営・街づくりにAIソリューション活用広がる。

● 新規導入/導入中
14か所

- 道の駅 6カ所
- ロジスティックス 4カ所
- 都市公園 1カ所
- 駅前広場 1カ所
- 大型複合ビル 1カ所
- テレワーク施設 1カ所



ららぽーと甲子園
ショッピングパークにおける人流把握・施設管理

安城市
街区・道路情報の、国交省推進の3D都市マップ上への可視化実証

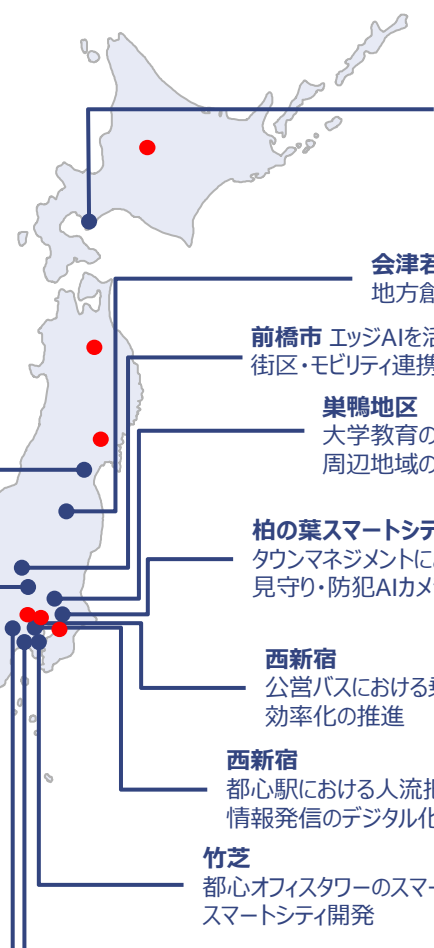
ロジクロス海老名
物流施設でのトラック管理および庫内作業の効率化

仙台市
都市中心部の人流解析
避難所運営の効率化

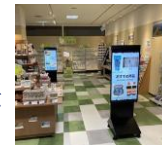


SMARK伊勢崎
屋外駐車場満空把握
および利用者誘導効率化

小諸市
まちづくりの取組の効果測定
※新規連携協定



室蘭市
都市政策及び観光分野におけるAIを活用した街づくりで地域活性化促進



会津若松 ICTスマートシティ事業による地方創生・地域活性化への参画

前橋市 エッジAIを活用した、街区・モビリティ連携によるスマートシティ推進



巢鴨地区
大学教育の高度化に向けた産学連携と周辺地域のデジタル化推進

柏の葉スマートシティ
タウンマネジメントにおける見守り・防犯AIカメラ提供



西新宿
公営バスにおける乗降調査の自動化・効率化の推進

西新宿
都心駅における人流把握および情報発信のデジタル化



竹芝
都心オフィスタワーのスマートビル・スマートシティ開発

鎌倉市
街頭での混雑度可視化による過観光・過密の解消



在宅勤務支援サービスは、在宅での安心・安全な業務遂行を支援

👍 依然、在宅勤務ソリューションの需要大。大手企業へのシステム導入が進行。

PC内蔵カメラの活用が可能



外付けカメラ機器でも可能

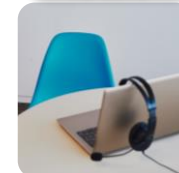


遠隔監視でガバナンスを担保

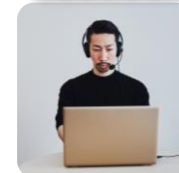


検知する内容の例

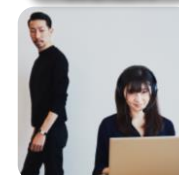
離着席



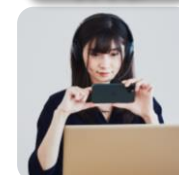
なりすまし



覗き込み



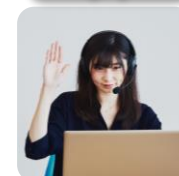
スマホ



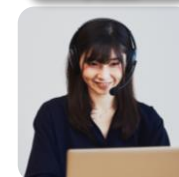
飲み物



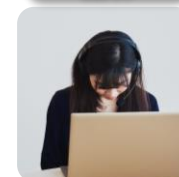
挙手



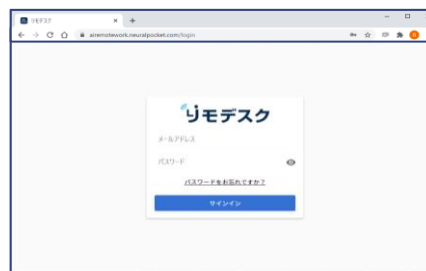
笑顔



謝罪



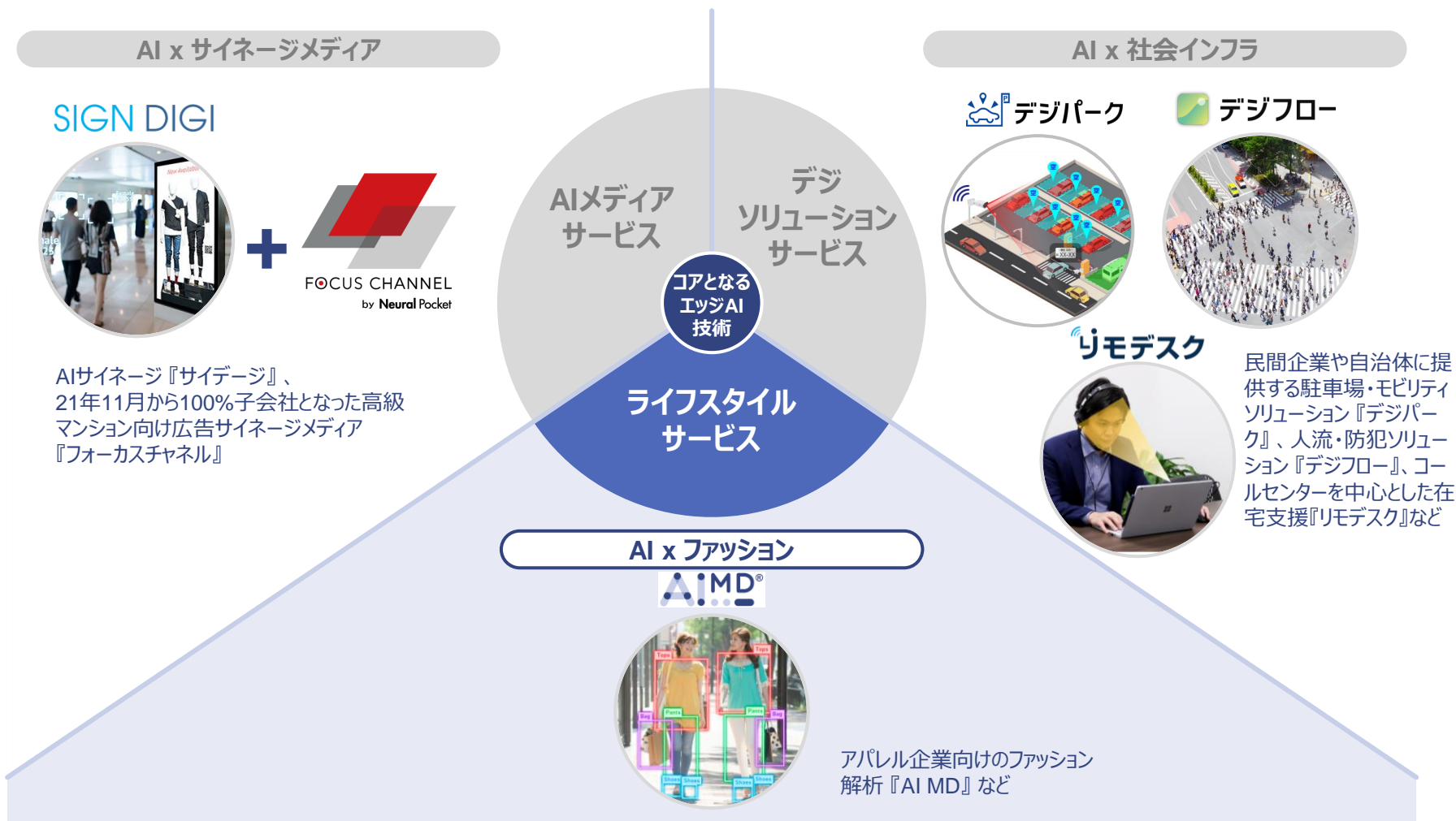
WebブラウザからURLにログインするだけで、ブラウザ上でユーザーのPCのカメラアクセスを取得し、AI検知はユーザーが使用しているPCのCPUを用いてブラウザ上でPC内でエッジ処理される



- 事業の概要と第4四半期ハイライト
- **サービスドメインごとの事業進捗**
 - AIメディアサービス
 - デジソリューションサービス
 - **ライフスタイルサービス**
- 中期的な事業飛躍に向けて

ライフスタイルサービスの事業進捗

👉 ファッション領域において、事業は堅調に推移。引き続き各ソリューションの磨きこみを行うと同時に、導入拡大に取り組む。



AI MDを中心にアパレル企業にDX支援の事業を展開

👉 ファッショントレンド解析の『AIMD』にはじまり、ECLレコメンド配信およびデジタルサイネージを組み合わせた、三位一体のO2O*1体験の実現を進める

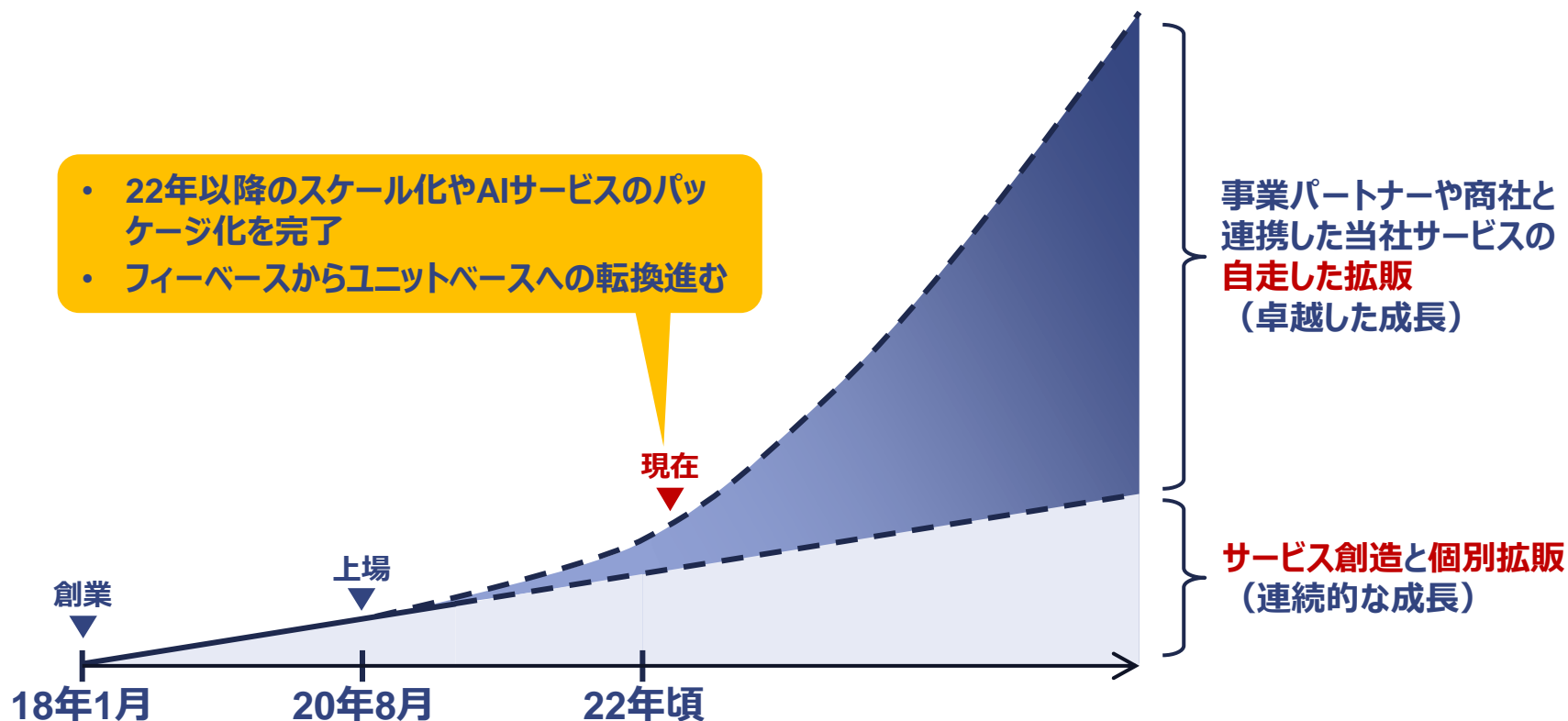


* Online to Offline オンライン（e-コマース等）での消費行動から、オフラインでの行動へと促す施策のこと

- 事業の概要と第4四半期ハイライト
- サービスドメインごとの事業進捗
- **中期的な事業飛躍に向けて**

当社が目指す事業成長のイメージ

 上場以来、当社成長イメージを推進。今期から飛躍的なスケール化を目指す。



- 22年以降のスケール化やAIサービスのパッケージ化を完了
- フィーベースからユニットベースへの転換進む

事業パートナーや商社と連携した当社サービスの自走した拡販
(卓越した成長)

サービス創造と個別拡販
(連続的な成長)

事業創造

- 企業体制の構築
- 社会課題の特定
- サービスの創出

事業モデルの深化

- サービス品質の成熟化
- 事業パートナーとの提携
- 事業セグメントの定義
- 各事業のKPI策定

スケール感をもった展開

- 中期経営計画の公表
- 事業セグメントとKPIの開示と継続的なモニタリング

2021年度経営方針の振り返り



2021年度は、短期的な売上成長に対し、ビジネスモデルの深化とサービスの完成を優先して事業を推進。汎用化されたサービスを拡販する体制の構築が進行。

フィーベースからユニットベースへ

企業や行政との個別契約による販売拡大に加え
汎用化されたサービスが自走して拡販される事業モデルを加速

【テーマ1】 共創パートナーの拡大

販売、メンテナンス・サポート、行政向け入札権などの必要要素をパートナーシップ、または必要に応じたM&Aを通じて拡大する

【テーマ2】 使いたくなるAIサービスへ

汎用的なニーズに基づく使いやすさを追求し、高いAIサービス品質と稼働安定性の担保を通じ、1万ユニット体制を目指す

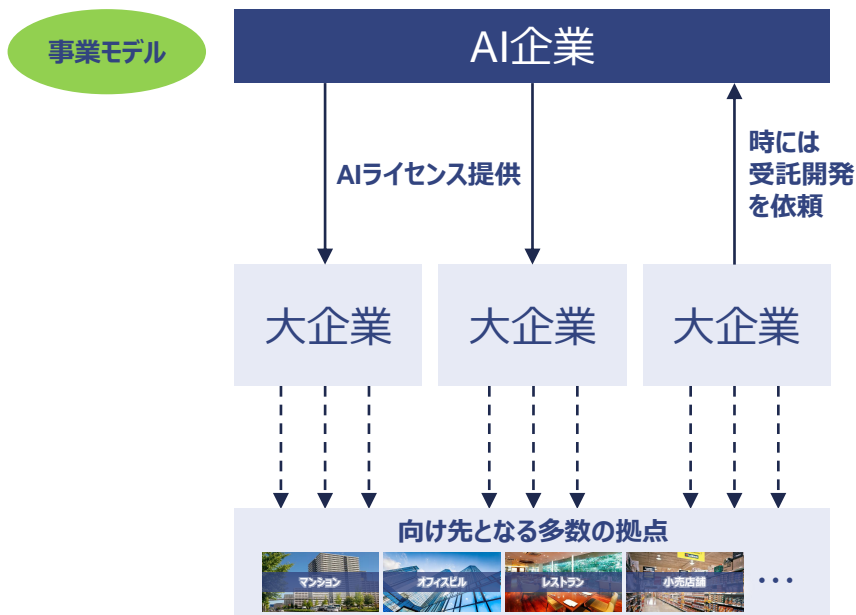
【テーマ3】 AI技術へのこだわり

業界最大水準のデータ蓄積を目指すとともに、CG活用を始めとする独自の学習技術を用いた最適なAIロジック開発に積極投資する

当社事業のビジネスモデルの進化

👉 2018年から2020年に主力であったフィーベースの収益構造の転換を目指し、2021年にユニットベースへの強力なシフトを推進。ユニットベースのサービス展開を通じ、直接的に顧客のニーズに触れることで、よりよいAIサービスの提供を加速する。

フィー型収入をベースとした事業モデル



事業モデル

課金形態

特徴

- 1プロジェクト数千万円～数億円
- 期限のある契約形態で、一定期間ごとに延長交渉
- 1プロジェクトで一定の売上獲得ができる一方、PoC実施後、サービスが開始されないことも多い

導入ユニット数に応じた収入をベースとした事業モデル



21年にシフトを加速

- 1契約（複数ユニット）は年間数十万円～数千万円
- ユニット数ベースの契約が主
- AI企業が主体的にサービス導入と拡大をリードできる

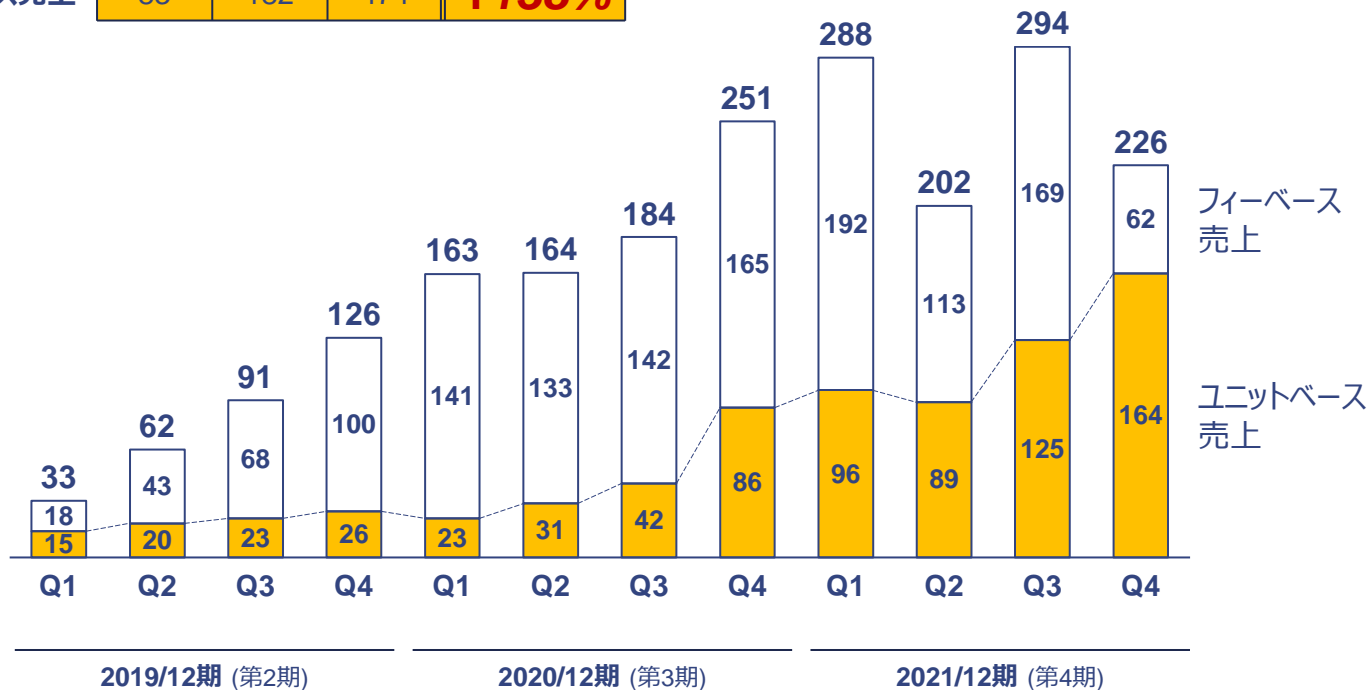
フィーベース vs ユニットベースの推移

👉 2021年のAIサービスの完成以降、ユニットベースの売上成長（年率成長率+138%）がフィーベースの売上成長（年率成長率+53%）を凌ぐ水準に到達。2022年以降に計画をしていた卓越した成長の体制が整備されてきたことを踏まえ、Q4のフィーベース案件を一部見送り、自社サービスの発展に向けた人員配置を行った。

(百万円)

	FY2019 実績	FY2020 実績	FY2021 実績	年平均成長率 FY19-21
フィーベース売上	228	580	536	+53%
ユニットベース売上	83	182	474	+138%

フィーベース案件を一部見送り、
2022年の事業計画達成に向けて
自社サービスの発展に人員を配置



事業特性を活かした成長の方向性

👉 当社の展開する技術軸を起点とした事業会社は、総合的なAIサービス事業者としての産業横断的にサービス拡大やM&Aを実行しやすいことが強み。有機的なサービス開発や事業成長に加え、当社の主力事業を加速する周辺領域や、先行する類似企業の獲得を積極的に取組予定。

産業の軸 (Vertical)

技術の軸 (Tech Stack)

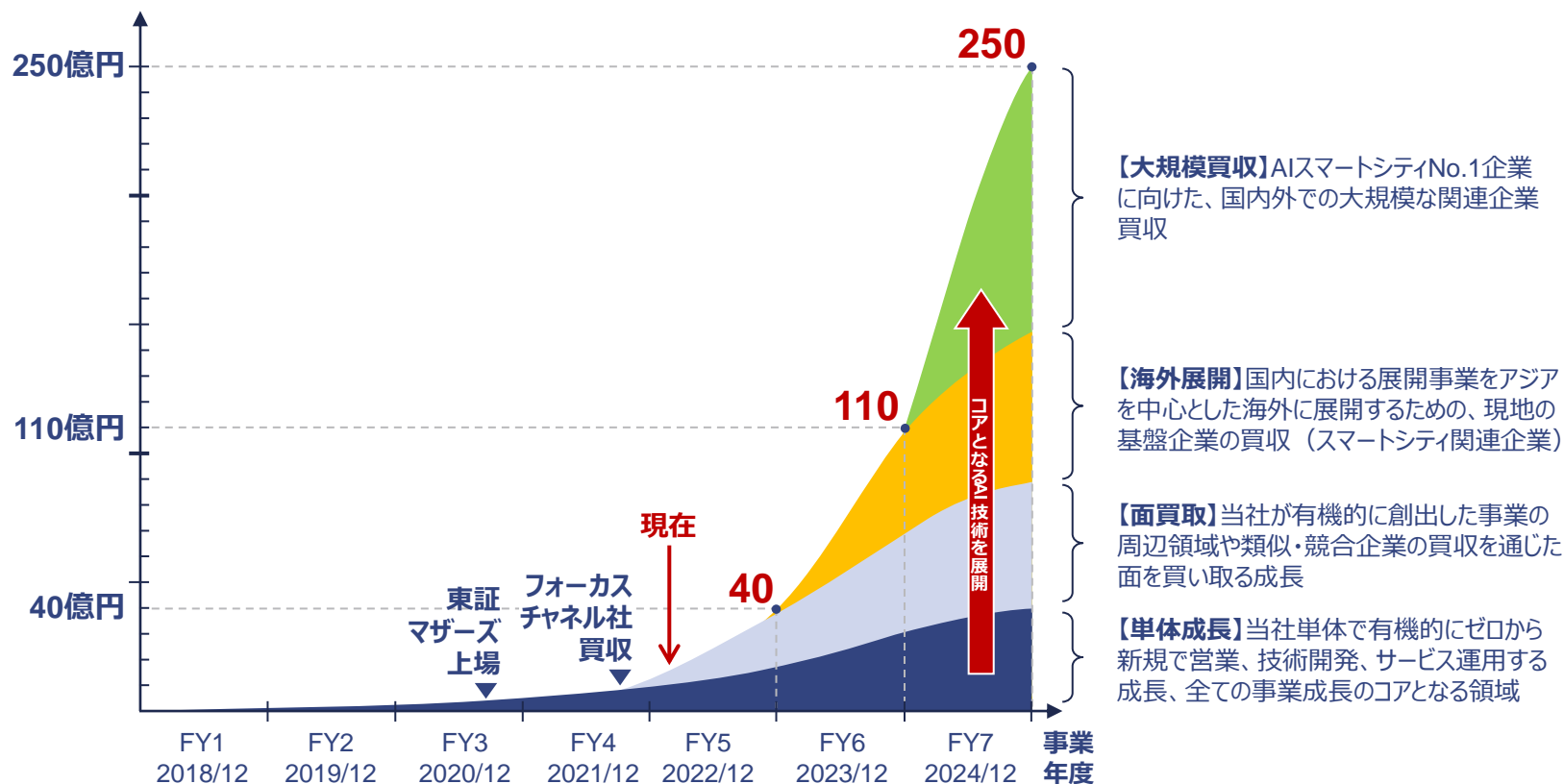
	広告・メディア	社会インフラ 不動産	運輸・輸送	小売・アパレル	公共・自治体	テレコム・電機	自動車・製造業	医療・製薬	農業・化学	金融	石油・資源
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> デバイスセキュリティ ネットワークセキュリティ アプリケーションセキュリティ 										
アプリケーション	<ul style="list-style-type: none"> アプリケーション UI/UX 										
アナリティクス	<ul style="list-style-type: none"> AI データアナリティクス 										
プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> OS/ミドルウェア データストレージ データ整備/処理 										
コネクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> ローカルネットワーク 広域ネットワーク 										
ハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> 機器/ロボット センサー 										

中期的な重点領域 (M&A含む) → 将来的なポテンシャル領域

3カ年の事業成長目標

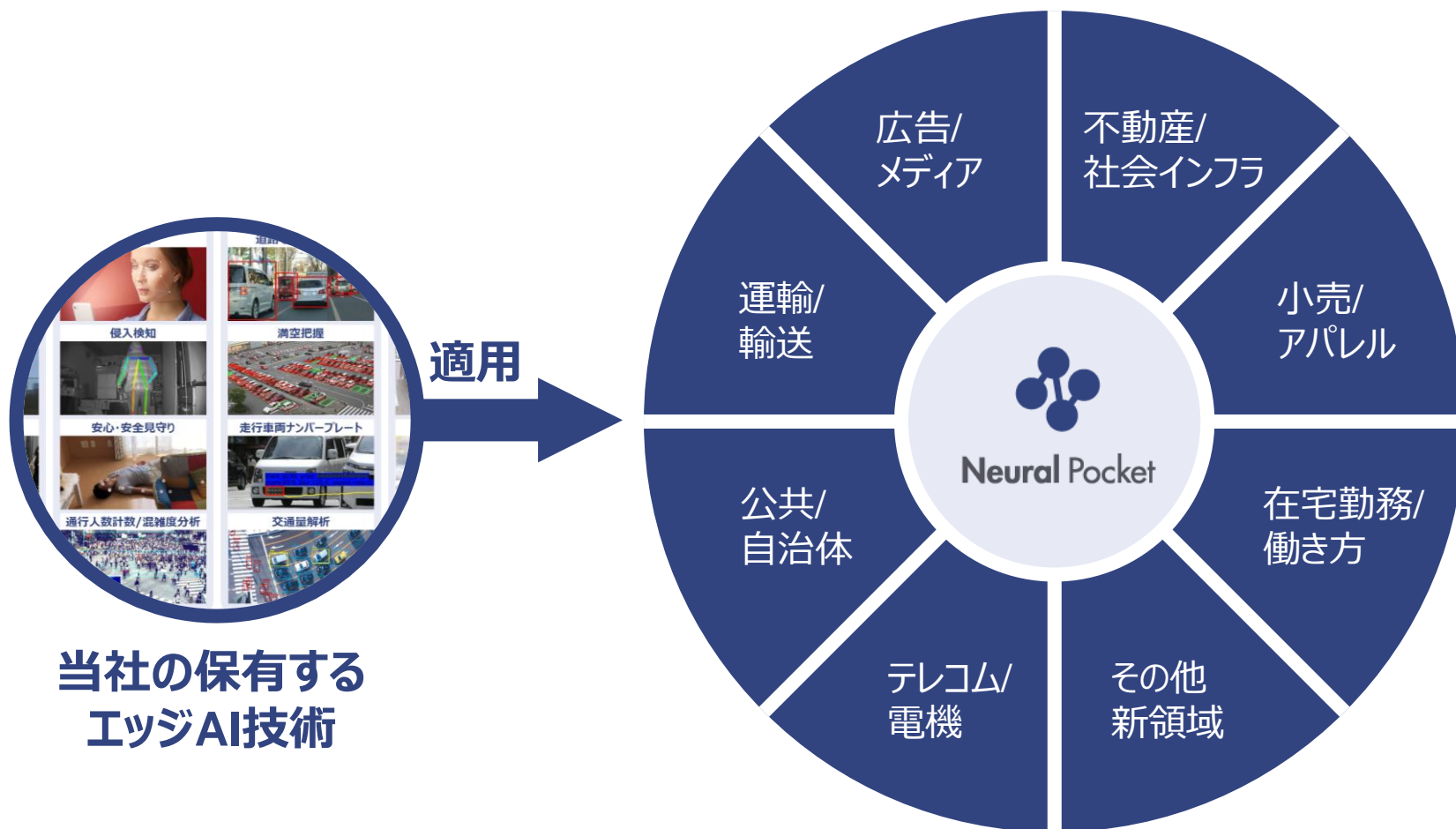
👉 事業展開においては、単体で創出したエッジAIのコア技術やサービスをテコに、国内外の関連サービスを順序立てて企業買収（ロールアップ）しながら成長実現目指す。2021年11月1日に、当社最初のM&Aとなるフォーカスチャネル社の買収実施。今後は、単体の事業成長に加え、年間2件程度を目安に、事業の拡大に資するシナジーを創出するM&Aを実施する計画。

連結売上高（目標）



総合的なAIサービス事業者を目指す

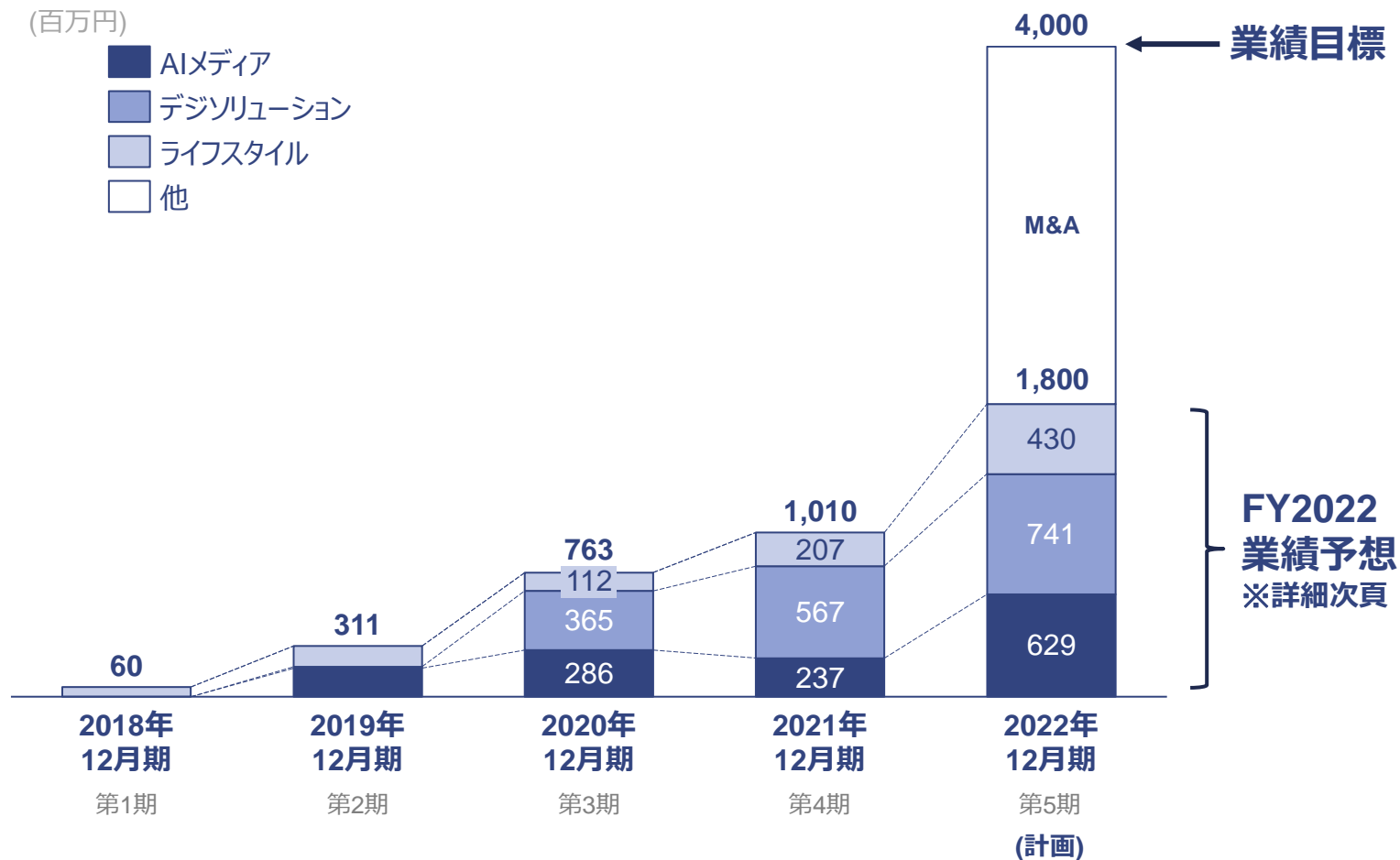
 当社の保有する多様なエッジAI技術を多様な領域に適用し、AIサービスの包括的なサービス事業者を目指す。



総合的なAIサービス事業者へ

売上高の伸長を目指す：進行期業績計画

👉 進行期では、事業規模の4倍増を目指す。有機的なサービス伸長に加え、M&Aを通じた面の獲得や類似・関連・競合企業の統合（ロールアップ）を目標に進める。



2022年12月期 通期業績予想

 ユニットベース売上を中心に有機的なサービス伸長で+78%成長を見込む。

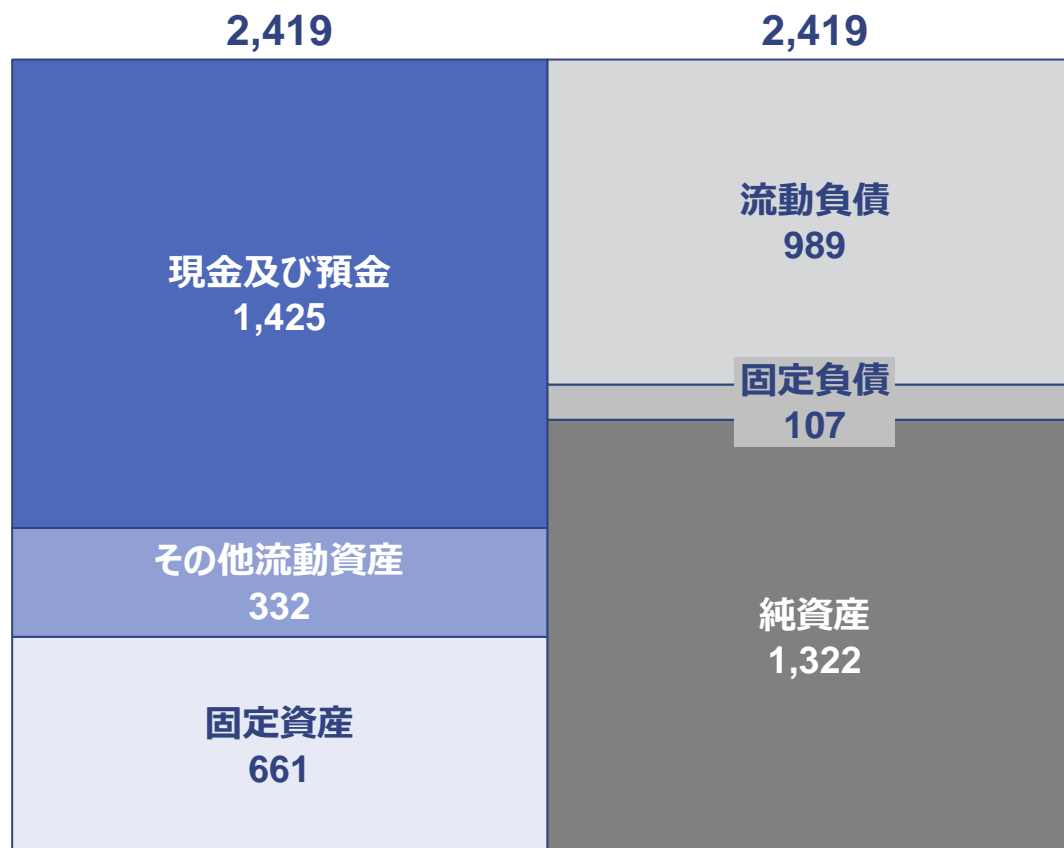
(百万円)	2021年 12月期 実績値	2022年 12月期 業績予想	増減額	増減率
売上高	1,010	1,800	789	+78.2%
営業利益 営業利益率	20 2.0%	20 1.1%	-0 -0.9pt	-0.9%
経常利益 経常利益率	13 1.4%	5 0.3%	-8 -1.1pt	-63.4%
当期純利益 当期純利益率	11 1.1%	2 0.1%	-9 -1.0pt	-82.3%

M&A実施等により
業績予想修正がある場合、
随時適時開示予定

2021年12月期 通期期末（12月末時点） 貸借対照表

 今後、M&Aを含む更なる積極的な成長投資を可能にするための財務基盤を中期的に強化する方針。

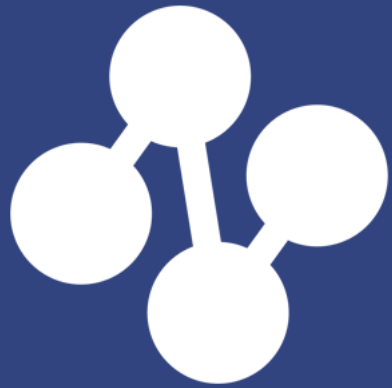
(百万円)



免責事項

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新・改訂を行う義務を負うものではありません。また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。



Neural Pocket